

プラズマディスプレイシステム

PDP-501HD

操作マニュアル

もくじは  
6 ページ

 **PIONEER**<sup>®</sup>

## 安全に正しくお使いいただくために

### 図記号について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな図記号を使用しています。その記号と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

### 図記号の意味

 記号は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。  
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

 記号は、やってはいけない（禁止）内容です。  
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

 記号は、必ず行っていただく（強制）内容です。  
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

万一、煙が出ている、変なにおいや音が出るなどの異常な状態で使用すると火災・感電の原因となります。

すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、プラグを抜いて販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

万一、内部に水や異物等が入った場合は、すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

オーディオ機器やビデオ機器など、他の機器と組み合わせて使用する場合は、電源を「切」にしてから接続してください。



プラグを抜け

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。



警告

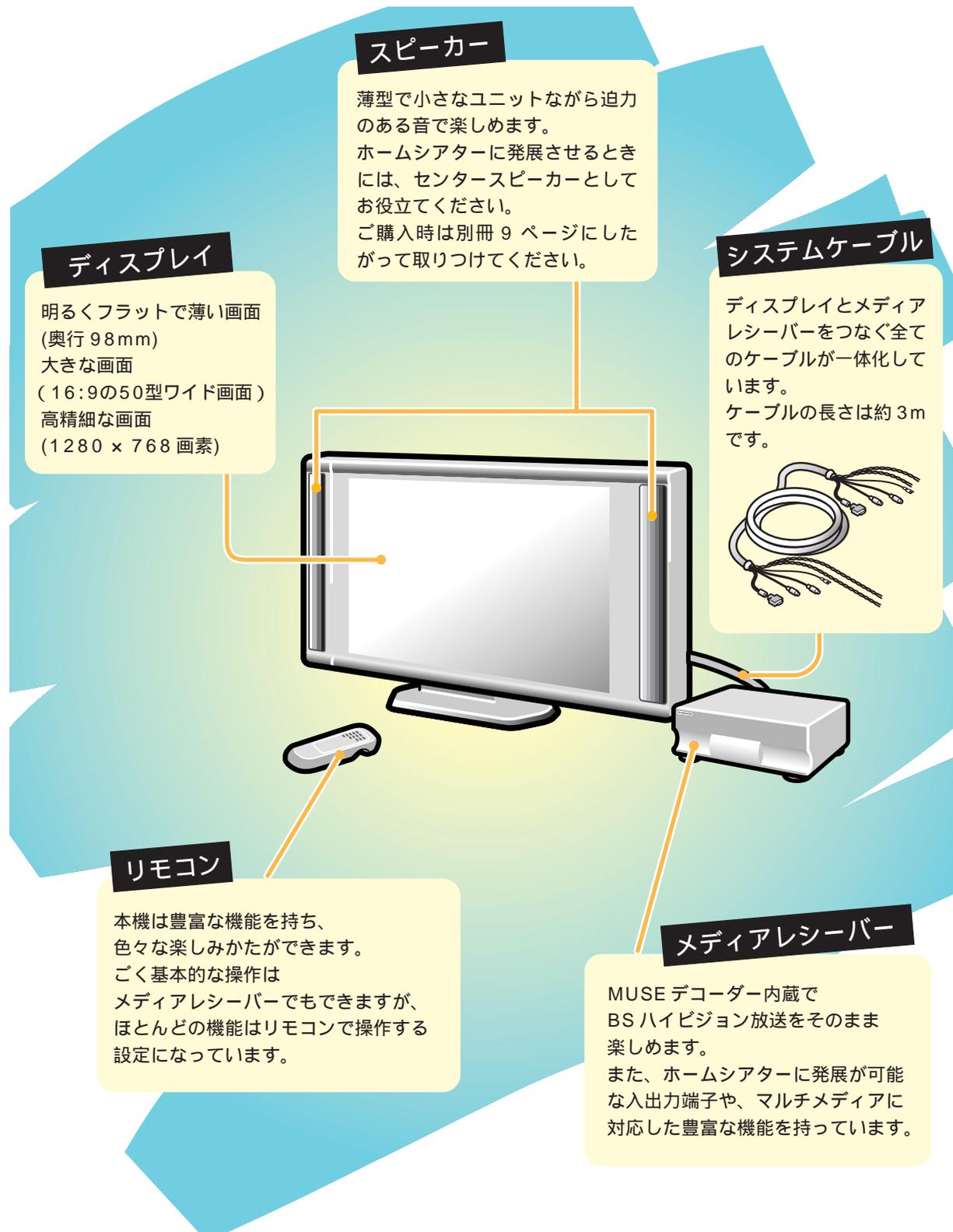
地震などによる転倒を防止するため、丈夫なヒモとフック金具を使用して、壁や柱など強度の高いところにディスプレイを固定してください。



注意

# 本機の構成

本機はディスプレイ、メディアレシーバー、リモコン、スピーカーおよびシステムケーブルで構成されています。

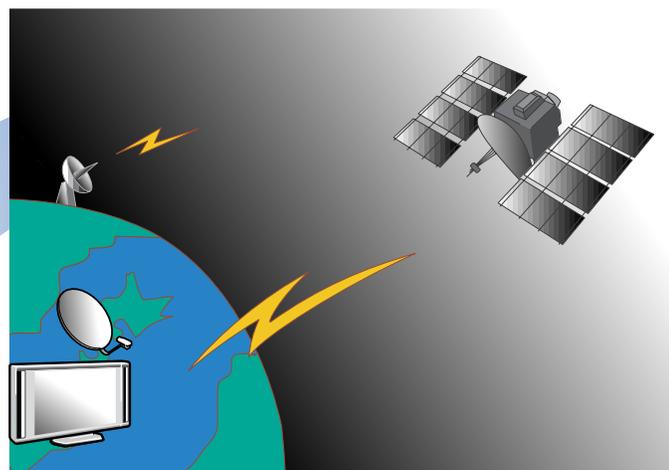


# こんなことができます

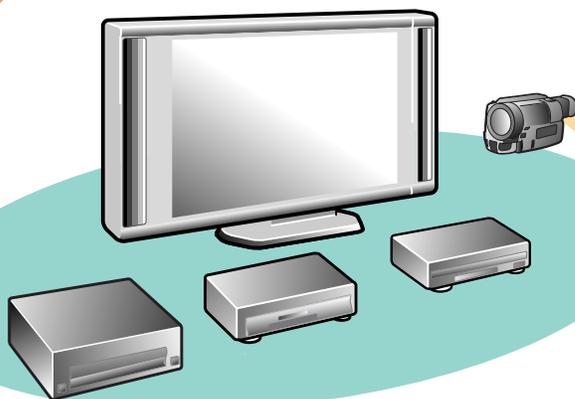


## いろいろなテレビ放送を楽しむことができます

一般の VHF/UHF  
テレビ放送  
BS 放送  
BS ハイビジョン放送  
CATV 放送(ケーブルテレビ)



## いろいろなソース機器をつなぐことができます



DVD プレーヤー  
DVD LD プレーヤー  
ビデオデッキ  
CLD プレーヤー  
ハイビジョン LD プレーヤー  
ハイビジョン用ビデオデッキ  
(デジタル) CS チューナー

本機で各放送を見るために用意する機器

放 送	用意する機器
VHF/UHF 放送	VHF/UHF アンテナ
BS 放送	BS アンテナ
BS 有料放送 (WOWOW など)	BS アンテナ + BS デコーダ
BS ハイビジョン放送	BS アンテナ
CATV 有料放送	CATV 放送会社の 設置工事 + ホームターミナル
CS 放送	CS アンテナ + CS チューナー (デコーダ)
CS デジタル放送	CS アンテナ + デジタルCSチューナー (デコーダ)

1997年12月現在

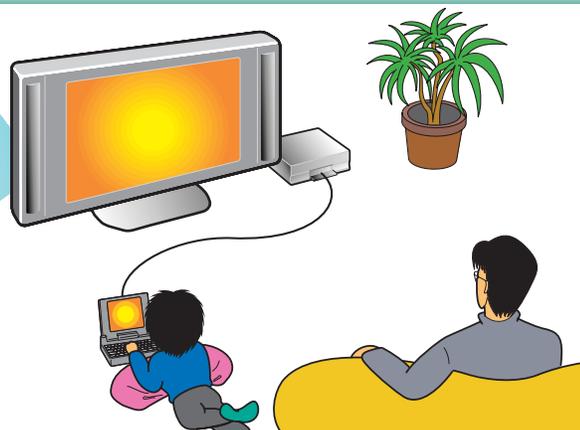
アンテナまたはCATVはマンションなどの共同設備を利用できる場合があります。CATVの受信はサービスの行われている地域のみ可能です。

## あなたのお部屋を臨場感豊かなホームシアターに発展させることができます



## パソコンのディスプレイとして使えます

お手持ちのデスクトップ型・ノート型のパソコンがつけます



# もくじ

安全上のご注意 .....	2
本機の構成 .....	3
こんなことができます .....	4

はじめに .....	8
本書の見かたについて・	
リモコンに電池を入れる .....	8
<b>主電源について .....</b>	<b>9</b>
各部の名前 .....	10
リモコン・基本キー .....	10
リモコン・応用キー .....	11
メディアレシーバー .....	12
ディスプレイ .....	13
日常のお手入れ .....	14

## ふだんの使い方 ..... 15

## 使いこなし ..... 27

### 映像の設定 ..... 28

### 音声の設定 ..... 32

### その他の設定 ..... 36

## ホームシアターについて ..... 53

### ホームシアターの接続 ..... 54

## 本機をパソコンのディスプレイとして使う ..... 57

故障かな?と思ったら .....	68
保証とアフターサービスについて .....	72
仕様 .....	73
技術解説 .....	74
さくいん .....	76



テレビ放送を見る .....	16
BS 放送を見る .....	18
BS ハイビジョン放送を見る .....	20
音声を切り換える .....	22
放送を録画する .....	24

画質を調整する .....	28
(コントラスト・明るさ・色の濃さ・色あい・	
シャープネス・色温度)	
見やすい画質にする .....	30
(動きモード)	
映像だけを消す .....	31
(映像ミュート)	

音質を調整する .....	32
(高音・低音)	
BS 独立音声放送 (セント・ギガ) を聞く ..	33
臨場感のある音を楽しむ .....	34
(フロントサラウンド <SRS>・3-1 方式サラウンド)	

画質、音質をメモリーする (AVメモリー) .....	36
受信チャンネルを自動で設定する .....	40
チャンネルを自分で設定する .....	42
(チャンネル表示を書き換える)	
画面サイズを切り換える .....	48
電源を自動的に切る .....	51
(オートパワーオフ)	

機能を初期の設定状態に戻す .....	52
---------------------	----



DVD やLD、ビデオなどを見る ..... 26

画質を調整する ..... 28  
 (コントラスト・明るさ・色の濃さ・色あい・シャープネス・色温度)  
 見やすい画質にする ..... 30  
 (動きモード)  
 映像だけを消す ..... 31  
 (映像ミュート)

音質を調整する ..... 32  
 (高音・低音)

臨場感のある音を楽しむ ..... 34  
 (フロントサラウンド<SRS>・3-1方式サラウンド)

画質、音質をメモリーする (AVメモリー) ..... 36  
 (ゲームを楽しむとき)

入力表示を書き換える ..... 46  
 画面サイズを切り換える ..... 48  
 電源を自動的に切る ..... 51  
 (オートパワーオフ)

機能を初期の設定状態に戻す ..... 52



接続の前に ..... 58  
 パソコンとのつなぎかた ..... 60  
 パソコンの画面を映すには ..... 62

映像を調整する ..... 63  
 <コントラスト・明るさ・Rレベル・Gレベル・Bレベル・クロック周波数・クロック位相・画面位置(水平・垂直)>  
 映像をより見やすくする ..... 64  
 (PC動画モード)

音質を調整する ..... 32  
 (高音・低音)

臨場感のある音を楽しむ ..... 34  
 (フロントサラウンド <SRS>)

画質、音質をメモリーする (AVメモリー) ..... 37  
 (PC入力時の「標準 / AVメモリー」について)

入力表示を書き換える ..... 46  
 画面サイズを切り換える ..... 49

PICALIN 機能について ..... 65  
 G ON SYNC の設定 ..... 66  
 節電機能を働かせる ..... 67  
 (パワーマネージメント)  
 機能を初期の設定状態に戻す ..... 52

はじめに

ふだんの使い方

映像の設定

音声の設定

その他の設定

ホームシアター

パソコン

その他

# はじめに

## 本書の見かたについて

- ・ 本書は主に使い方を中心に内容をもとめています。設置や接続については、別冊の「設置マニュアル」をご覧ください。
- ・ 本機は機能が大変豊富です。もくじはやりたいことがひと目で分かるようになっています。
- ・ 本書の内容を理解しやすくするために、補足的な情報を3つに分けて説明しています。



便利

便利に使いこなしていただくための情報です。



ご注意

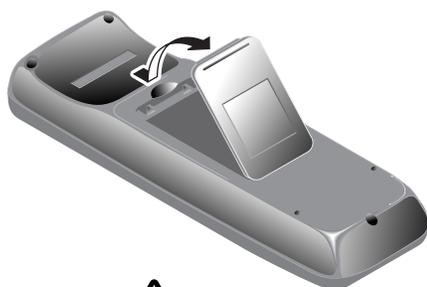
正しく安心してお使いいただくための情報です。



ひとつこと

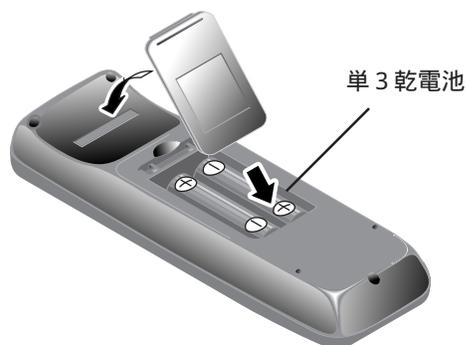
機能や操作方法について紹介しています。もっと知りたいときにお読みください。

## リモコンに電池を入れる



注意

- ・ 電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- ・ 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 長い間(一ヵ月)使用しないときは、電池の液漏れを防ぐためにリモコンから電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。
- ・ 付属の電池を充電、ショート、分解したり火中に投入したりしないでください。



### リモコンの取り扱いについて

- ・ リモコンは落としたり濡らしたりしないでください。
- ・ 直射日光または暖房の放射熱の当たるところ、湿気の多いところでは使用しないでください。

### リモコンの電池交換について

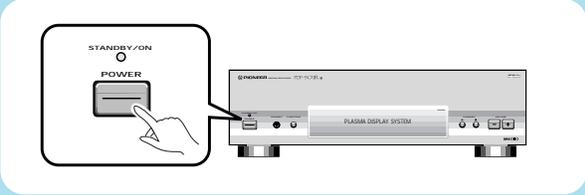
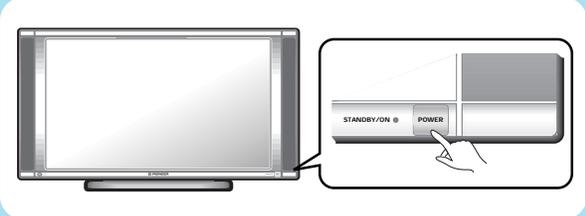
- ・ 使えなくなった電池はすぐ取り出して処分してください。

# 主電源について

必ずお読みください

本書では、操作の説明を電源がスタンバイの状態から説明しています。  
電源をスタンバイ状態にするまでの操作手順を以下に説明しますので、必ずお読みください。

はじめて

入れ方の手順	インジケータの色	
	メディアレシーバー	ディスプレイ
<b>1. メディアレシーバーの主電源を入れる</b> 	 黄 (点滅)	
<b>2. ディスプレイの主電源を入れる</b> 	 黄 (点滅) → 緑	 緑
これで主電源が入りました		
<b>3. リモコンの電源ボタンを押す</b> 	 緑 → 赤	 緑 → 赤
スタンバイ状態になりました		
<b>主電源を切るとき</b> 主電源を切るときは、メディアレシーバーとディスプレイの両方の主電源ボタンを押します。 長い間使わないときは主電源を切るようにしてください。		



便利

本機は8分以上画像信号を検知しない場合、自動的にスタンバイ状態にすることができます(オートパワーオフ機能 51ページ参照)。



ご注意

メディアレシーバー、またはディスプレイのどちらか片方だけの主電源しか入っていない場合、インジケータは黄色に点滅します。必ず両方の主電源を入れてください。

# 各部の名前

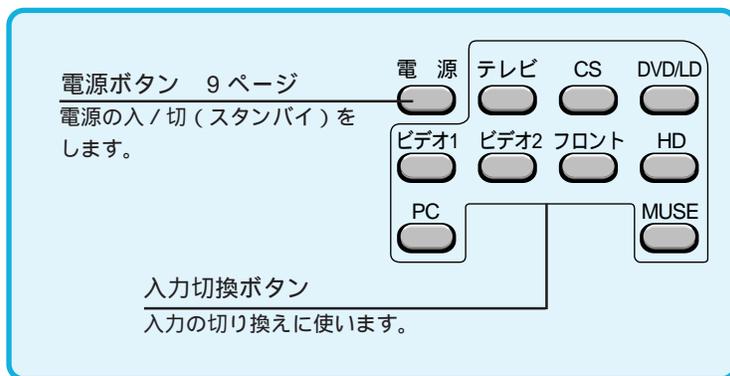
## リモコン

### 基本キー

**電源ボタン 9 ページ**  
電源の入/切 (スタンバイ) を  
します。

電源 テレビ CS DVD/LD  
ビデオ1 ビデオ2 フロント HD  
PC MUSE

**入力切換ボタン**  
入力の切り換えに使用します。



**音量ボタン 16 ページ**  
+、- ボタンで音量が調整できます。

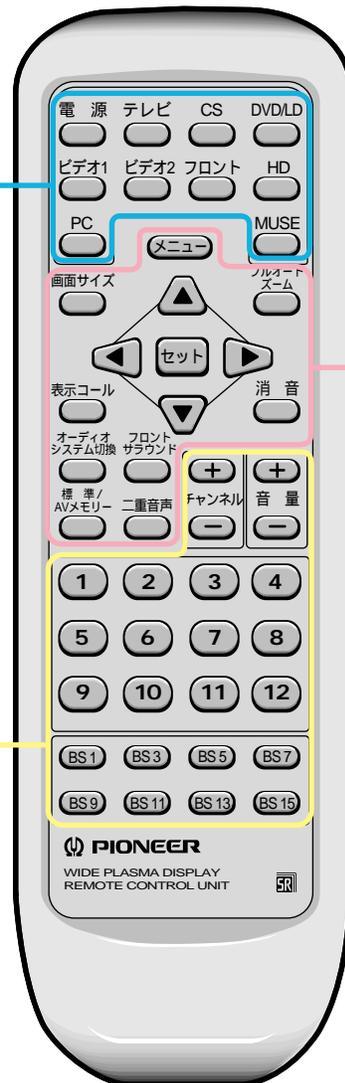
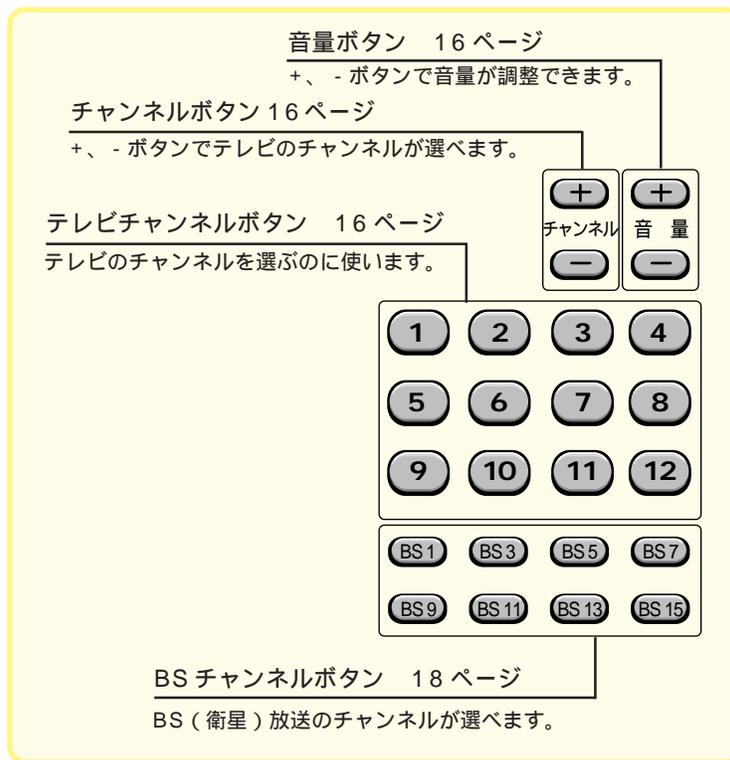
**チャンネルボタン 16 ページ**  
+、- ボタンでテレビのチャンネルが選べます。

**テレビチャンネルボタン 16 ページ**  
テレビのチャンネルを選ぶのに使います。

チャンネル 音量  
+ +  
- -

1 2 3 4  
5 6 7 8  
9 10 11 12  
BS1 BS3 BS5 BS7  
BS9 BS11 BS13 BS15

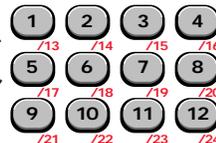
**BS チャンネルボタン 18 ページ**  
BS (衛星) 放送のチャンネルが選べます。



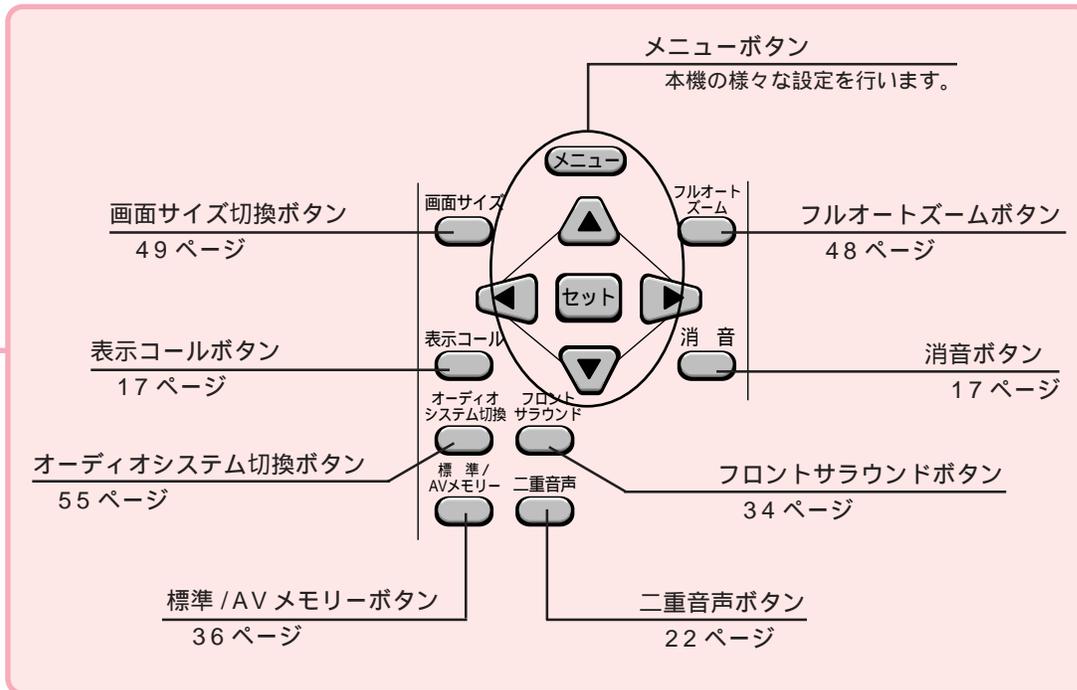
ひとこと

13 ~ 24 に設定したチャンネルを見るには  
リモコンのチャンネル番号を2回続けて押しま  
す。

1 チャンネルを 2 回続  
けて押すと 13 チャンネル  
が表示されます。

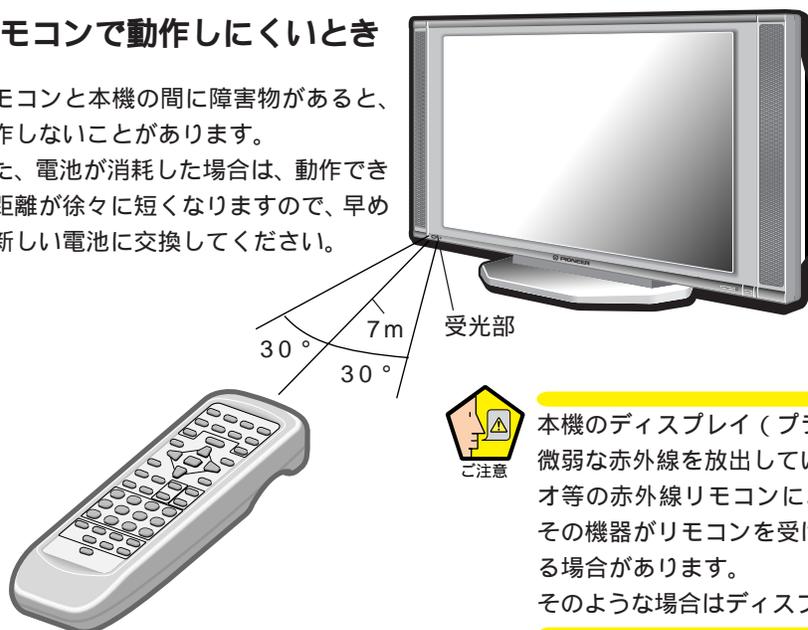


## 応用キー



## リモコンで動作しにくいとき

リモコンと本機の間には障害物があると、動作しないことがあります。  
また、電池が消耗した場合は、動作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい電池に交換してください。



本機のディスプレイ（プラズマディスプレイ）は、画面から微弱な赤外線を放出しています。ディスプレイの近くにビデオ等の赤外線リモコンによって操作する機器を設置すると、その機器がリモコンを受け付けにくくなったり、受けなくなる場合があります。

そのような場合はディスプレイから離して設置してください。

設置環境によっては、ディスプレイから放出される赤外線の影響によって本機のリモコンが受け付けにくくなったり、リモコンが動作できる距離が短くなることがあります。

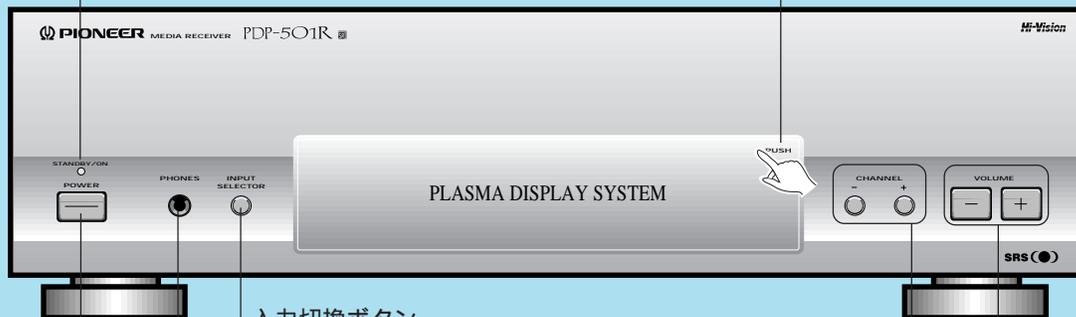
画面から放出される赤外線の強さは、表示される絵がらによって変わります。

# メディアレシーバー

## フロントパネル

**スタンバイインジケータ** 9 ページ  
スタンバイ状態では赤、本機が動作状態にあるときは緑色に点灯します。

ドアの開閉のしかた  
ドアの右上の隅を押すと開き、押しながら閉じるとロックします。



**入力切換ボタン**  
押すたびに次の順番で入力が切り換わります。\*注  
テレビ → CS → DVD/LD → ビデオ 1 → ビデオ 2  
↑  
MUSE ← PC ← HD ← フロント ←

**チャンネルボタン**  
+、- ボタンでテレビのチャンネルを選べます。

**ヘッドホン端子**  
(ヘッドホンを使うと、スピーカーから音は出ません)

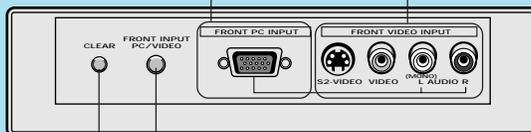
**音量ボタン**  
+、- ボタンで音量を調整できます。

**メディアレシーバー主電源ボタン** 9 ページ  
メディアレシーバーの電源の入/切をします。

## ドア内部

**フロント・PC入力端子** 58 ページ  
パソコンをつなぎます。

**フロント・ビデオ入力端子**  
ビデオカメラやゲームなどをつなぎます。



**フロント入力切換ボタン** 62 ページ  
フロント入力の PC とビデオを切り換えます。

**クリアボタン** 52 ページ  
機能を初期の状態に戻すときに、2 秒以上押し続けます。



\* 注 入力切換ボタンについて  
MUSE サブ入力をビデオ 2 に設定しているときは、ビデオ 2 はスキップされます。  
別冊 26 ページをご覧ください。



スタンバイ状態でクリアボタンを1度押すと電源が入ります。

## ディスプレイ



スタンバイインジケータ 9 ページ  
スタンバイ状態では赤、本機が動作状態にあるときは緑色に点灯します。

スピーカー  
ご購入されたら取り付けてください。  
(取り付け方 別冊 9 ページ)

ディスプレイ主電源ボタン 9 ページ  
ディスプレイの電源の入/切をします。

# 日常のお手入れ

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ・ディスプレイ/メディアレシーバー/リモコンのお手入れ

ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。ディスプレイやメディアレシーバー、およびリモコンが変質したり塗料がはげたりすることがあります。

柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

## ・画面(ディスプレイ前面保護パネル)のお手入れ

ほこりを払い落とした後、付属の布(ワイピングクロス)または柔らかい布で軽くふき取ってください。ティッシュや硬いものでふかないでください。

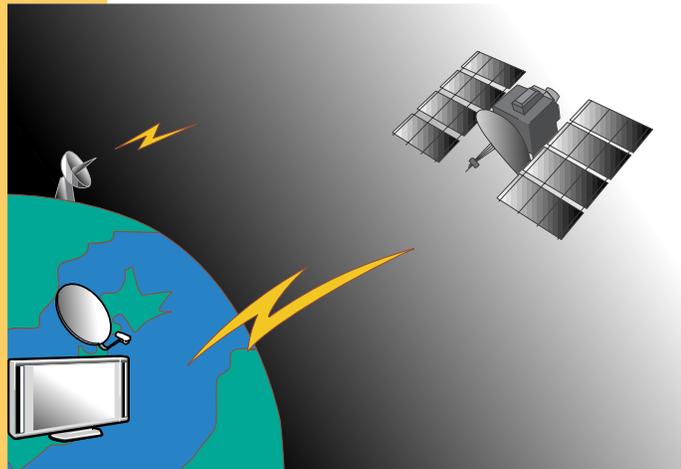
表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

## ・通気孔のお手入れ

ディスプレイ背面にある通気孔は、1カ月に1回を目安に掃除機でホコリを吸い取ってください(このとき掃除機は「弱」に設定してください)。また、通気孔のお手入れは必ず本機の主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ホコリをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。

# ふだんの使い方



# テレビ放送を見る

ここではふつうの VHF 放送、UHF 放送を見るための操作について説明します。

操作の前にならず次の接続と準備ができていることを確認してください。

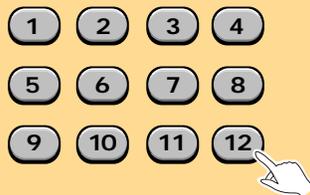
- ① VHF/UHF アンテナをつなぐ。(別冊 14 ページ)
- ② 本機の主電源が入り、スタンバイ状態になっている。(9 ページ)

## 1 電源を入れる



## 2 チャンネルを選ぶ

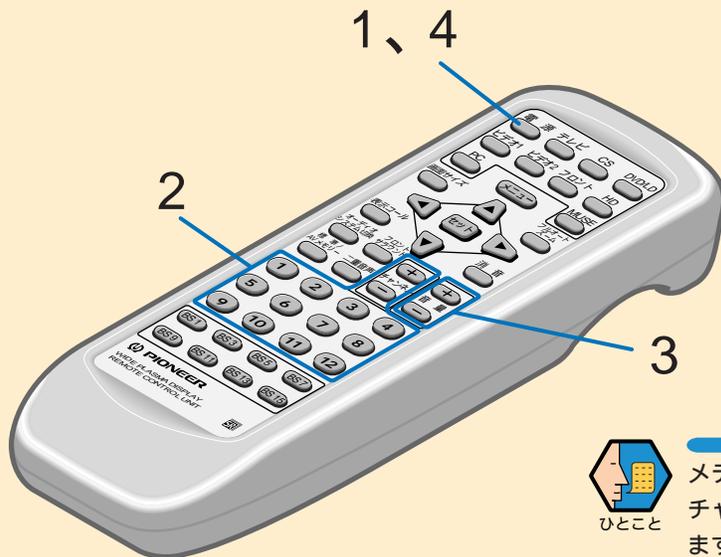
テレビチャンネルボタンで選ぶ  
例) 12 チャンネル



チャンネルボタンでも選ぶことができます。



## 3 音量を調整する



ひとつ

メディアレシーバーのフロントパネルにあるチャンネルボタンと音量ボタンでも操作できます。



ご注意

UHF放送を受信する場合は、チャンネルの設定が必要です。40 ページをご覧ください。

## 4 テレビを消すには リモコンの「電源」を 押す



音を消したいとき（音声ミュート）  
リモコンの「消音」ボタンを押します。



もう1度押すと音がでます。  
消音ボタンを押して8分経つと消音状態は自動的に解除されます。このとき、音量を最小の状態にして解除しますので突然音が出ることはありません。

見ているチャンネルの番号を知りたいとき  
リモコンの「表示コール」ボタンを押します。



見ているチャンネルの番号や設定の状態が、約3秒表示されます。



CATV（ケーブルテレビ）を見るには  
CATVを見るには、使用する機器ごとに  
CATV会社との受信契約が必要です。  
さらに、スクランブルのかかった有料放送の  
視聴・録画には、ホームターミナル（アダプ  
ター）が必要になります。



13～24に設定したチャンネルを見るには  
リモコンのチャンネル番号を2回続けて押  
します。

1チャンネルを2回続  
けて押すと13チャン  
ネルが表示されます。



映像だけを消したいとき（映像ミュート）  
31ページをご覧ください。

受信番組に合わせて画面サイズを切り換える  
ことができます。  
48ページをご覧ください。

# BS 放送を見る

ここではBS 放送を見るための操作について説明します。

本機はBS チューナーを内蔵しています。

操作の前にならず次の接続と準備ができていることを確認してください。

- ① BS アンテナをつなぎ、アンテナの設定をする。(別冊 15 ~ 17 ページ)
- ② BS の有料放送 (WOWOW/ セント・ギガなど) を見る場合は、スクランブルされている映像情報を元に戻すための専用のデコーダを本機に接続し、デコーダの設定をする。(別冊 18 ~ 20 ページ)
- ③ 本機の主電源が入り、スタンバイ状態になっている。(9 ページ)

## 1 電源を入れる



## 2 チャンネルを選ぶ

BS チャンネルボタンで選ぶ  
(例) BS11 チャンネル

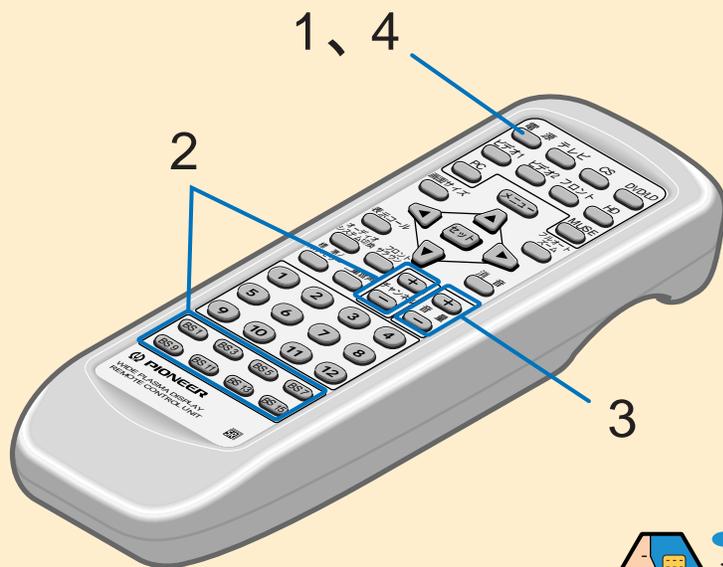
BS1 BS3 BS5 BS7

BS9 BS11 BS13 BS15

チャンネルボタンでも選ぶことができます。



## 3 音量を調整する



メディアレシーバーのフロントパネルにあるチャンネルボタンと音量ボタンでも操作できます。

#### 4 テレビを消すには リモコンの「電源」を 押す



便利

音を消したいとき（音声ミュート）  
リモコンの「消音」ボタンを押します。

消音



もう1度押すと音がでます。  
消音ボタンを押して8分経つと消音状態は自動的に解除されます。このとき、音量を最小の状態にして解除しますので突然音が出ることはありません。

見ているチャンネルの番号を知りたいとき  
リモコンの「表示コール」ボタンを押します。

表示コール



見ているチャンネルの番号や設定の状態が、約3秒表示されます。



ひとこと

BS独立音声放送（セント・ギガ）を聞くには  
33ページをご覧ください。



便利

映像だけを消したいとき（映像ミュート）  
31ページをご覧ください。

受信番組に合わせて画面サイズを切り換える  
ことができます。

48ページをご覧ください。

# BS ハイビジョン放送を見る

ここではBS ハイビジョン放送を見るための操作について説明します。  
本機は MUSE デコーダーを内蔵しています。

操作の前にならず次の接続と準備ができていることを確認してください。

- ① BS アンテナをつなぎ、アンテナの設定をする。(別冊 15 ~ 17 ページ)
- ② 本機の主電源が入り、スタンバイ状態になっている。(9 ページ)

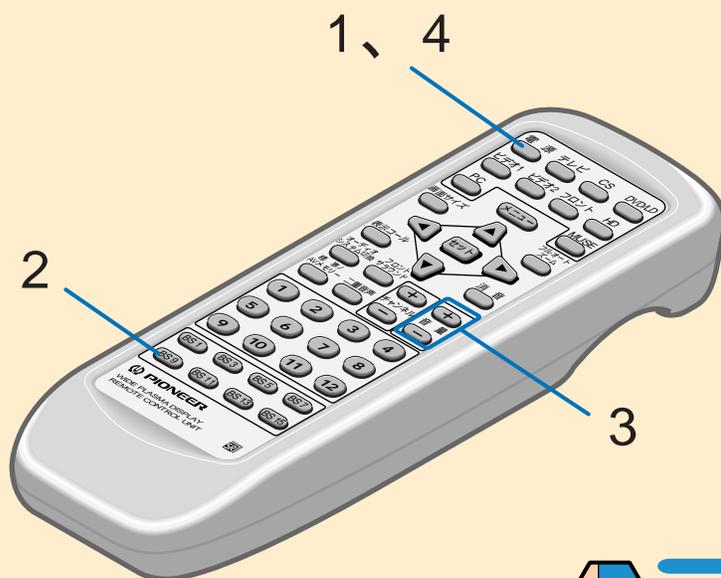
## 1 電源を入れる



## 2 チャンネルを選ぶ



## 3 音量を調整する



1997年12月現在、BSハイビジョン放送はBS9チャンネルで放送されています。

メディアレシーバーのフロントパネルにあるチャンネルボタンと音量ボタンでも操作できます。

#### 4 テレビを消すには リモコンの「電源」を 押す



音を消したいとき（音声ミュート）  
リモコンの「消音」ボタンを押します。



もう1度押すと音がでます。  
消音ボタンを押して8分経つと消音状態は自動的に  
解除されます。このとき、音量を最小の状態にして  
解除しますので突然音が出ることはありません。

見ているチャンネルの番号を知りたいとき  
リモコンの「表示コール」ボタンを押します。



見ているチャンネルの番号や設定の状態が、約3秒  
表示されます。



映像だけを消したいとき（映像ミュート）  
31 ページをご覧ください。



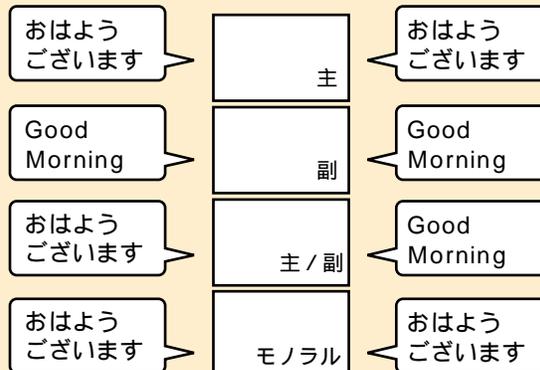
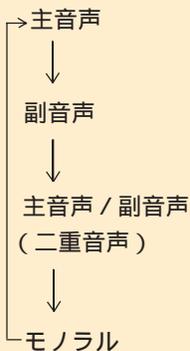
ハイビジョン放送受信時には、自動的に画面  
サイズが「フル」になります。  
50 ページをご覧ください。

# 音声を切り換える

## 主音声と副音声を切り換える

二重音声（二か国語）のとき、主音声と副音声を切り換えることができます。

「二重音声」を押す



便利

ステレオ放送で雑音が多いとき  
ステレオ放送で雑音が多いとき、二重音声ボタンでモノラルを選ぶと、モノラル音声になり聞きやすくなります。

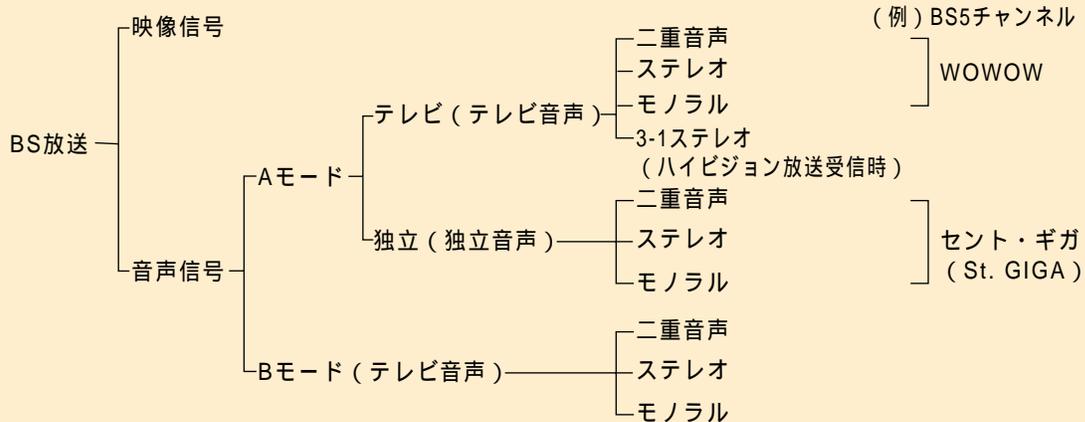


ひとこと

ステレオ放送のときにモノラル以外の音声モードを選ぶと、自動的に音声ステレオに切り換わります。

## BS 放送の音声について

- BS 放送には、A モード放送と B モード放送があります。  
A モード放送とは、4 つの音声チャンネルのうち、2 つ (L、R) はテレビ音声、残りの 2 つ (L、R) は独立音声として送る方式です。
- B モード放送では、A モード放送のときより音声信号の帯域幅が広いので、CD と同等の音を得ることができません。



Aモードの音質はFMと同等  
Bモードの音質はCDと同等



3-1 ステレオ < 4ch ステレオ (3-1 方式) > について

ハイビジョン放送 (ミュージック方式) の音声の一つに、4ch ステレオ (3-1 方式) があります。4ch ステレオ (3-1 方式) は、フロント (LR) の音声と、立体感を出すためのサラウンド音声 (S)、音声を定位させるためのセンター音声 (C) で構成されているので、臨場感のある音響効果が得られます。



BS 放送を受信しているとき

表示コールボタンを押したときに「主」、「副」あるいは、「主 / 副」と表示されたら二か国語放送を、「ステレオ」と表示されたらステレオ放送を受信しています。

BS ハイビジョン放送では、放送の種類によって複数の音声切替が可能になります。



通常の BS 放送を見ているときは、モノラルを選ばません。

ふだんの使い方

# 放送を録画する

ここでは様々な放送を録画するための操作について説明します。

ビデオデッキをビデオ1 出力端子に接続すると、現在ご覧になっている VHF 放送、UHF 放送や BS 放送を録画できます。

BS ハイビジョン放送の録画については次ページをご覧ください。

操作の前にならず次の接続と準備ができていることを確認してください。

- ① BS アンテナをつなぎ、アンテナの設定をする。(別冊 15 ~ 17 ページ)
- ② BS の有料放送 (WOWOW/ セント・ギガなど) を録画する場合は、スクランブルされている映像情報を元に戻すための専用のデコーダを本機に接続し、デコーダの設定をする。(別冊 18 ~ 20 ページ)
- ③ 本機の主電源が入り、スタンバイ状態になっている。(9 ページ)

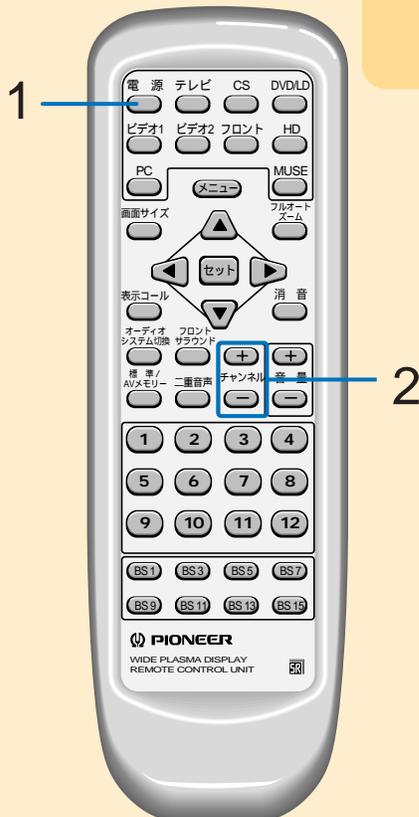
## 1 電源を入れる



## 2 録画したいチャンネルを選ぶ



## 3 ビデオデッキで録画操作をする



ご注意

CS 放送は、本機では受信できません。  
CS 放送を録画するにはCSチューナーを接続し、リモコンの入力切替ボタンでCSを選び、CSチューナーで録画したいチャンネルを選んでください。

## BS ハイビジョン放送を録画するには

BS ハイビジョン放送は、ビデオデッキをビデオ 1 出力端子に接続しても録画できません。  
BS ハイビジョン放送を録画するには、次の 2 通りの方法があります。

- ① MUSE-NTSC コンバータを接続して、ふつうのビデオデッキで録画する。
- ② ハイビジョン用のビデオデッキで録画する。

BS ハイビジョン放送を録画する場合の接続方法については、別冊 29 ページをご覧ください。  
現在ご覧になっている BS ハイビジョン放送を録画できます。

ふだんの使い方



ご注意

BS ハイビジョン放送を録画中には、チャンネルを変えないでください。



ひとこと

本機で各放送を録画するために用意する機器

放 送	ふつうのビデオデッキ以外に用意する機器
VHF/UHF 放送	VHF/UHF アンテナ
BS 放送	BS アンテナ
BS 有料放送 (WOWOW など)	BS アンテナ + BS デコーダ
BS ハイビジョン放送	① BS アンテナ + MUSE-NTSC コンバータ ② BS アンテナ + ハイビジョン用ビデオデッキ
CS/CS デジタル放送	CS アンテナ + (デジタル) CS チューナー (デコーダ)
CATV 有料放送	CATV 放送会社の設置工事 + ホームターミナル

# DVD や LD、ビデオなどを見る

ここでは本機に接続した様々な機器を見るための操作について説明します。

操作の前にならず次の接続と準備ができていることを確認してください。

- ① DVD/LD プレーヤーやビデオデッキを接続する。(別冊 22 ページ~)
- ② 本機の主電源が入り、スタンバイ状態になっている。(9 ページ)

## 1 電源を入れる



## 2 再生したい機器を選ぶ

(例：ビデオ 1)



## 3 見たい機器を操作する



ひとこと

別冊の設置マニュアルに基づいて接続した場合には、以下の見たい機器が選べます。

見たい機器	ボタン
CS チューナー	CS 
DVD/LD プレーヤー	DVD/LD 
ふつうのビデオデッキ	ビデオ1 
その他の AV 機器	ビデオ2 
フロント入力端子に接続されている機器	フロント 
ハイビジョン用ビデオデッキ	HD 
パソコン	PC 
ハイビジョン LD プレーヤー	MUSE 

# 使いこなし

映像の設定

音声の設定

その他の設定

操作中に、もし分からなくなった時はメニューボタンを押してやり直してください。



メニュー画面は、選んでいる入力によっては表示が違う場合があります。



この表示をしている時は、メニュー画面が少し違うことを表しています。

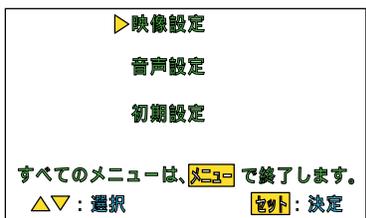
# 画質を調整する

テレビ、DVD、ビデオなどを見ながら調整してください。

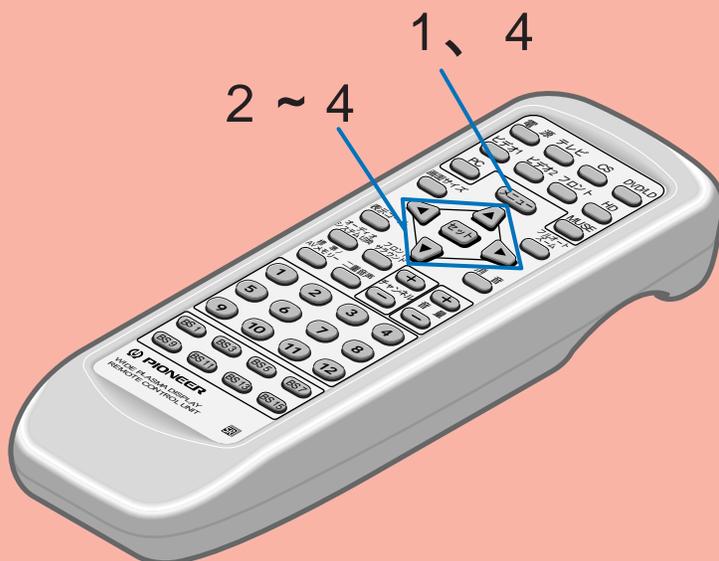
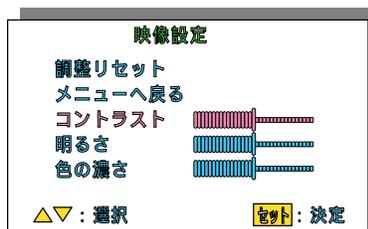
## 1 メニュー画面にする



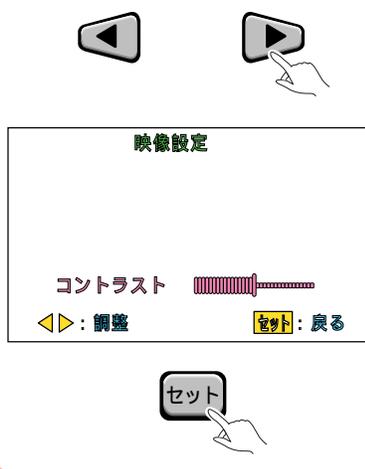
## 2 「映像設定」を選ぶ



## 3 調整する項目を選ぶ



### 4 好みの画質に調整する



調整が終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



手順3で「調整リセット」を選ぶと、ここで調整したことがすべてセンター値になります。



好みに調整した画質をAVメモリーとして記憶させることができます。  
38ページをご覧ください。

調整項目	◀	▶	調整のポイント
コントラスト	弱くなる	強くなる	周囲の明るさに合わせて、見やすくなるようにする
明るさ	暗くなる	明るくなる	画面の暗い部分が見やすくなるようにする (夜の画面や黒い髪の毛など)
色の濃さ	薄くなる	濃くなる	好みの濃さにする(やや薄めに設定すると自然に見えます)
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように調整する
シャープネス	柔らかくなる	くっきりする	通常はセンターでご使用ください。柔らかい感じを出したいときは、センターより左側になるように設定してください。

色温度は◀、▶で以下のように調整できます。

◀	センター	▶
暖かみのある色あいの画質が楽しめます。	落ち着いた画質が楽しめます。	心地よい色あいの画質が楽しめます。

# 見やすい画質にする

## 動きモードをオンにする

スポーツ番組など、動きの早い番組を見るときにオンにしておくと、映像のぼけなどを軽減させることができ、よりクリアな映像が楽しめます。(S映像信号が入力されているときは、設定できません。)

### 1 メニュー画面にする



### 2 「映像設定」を選ぶ



- ▶映像設定
- 音声設定
- 初期設定

すべてのメニューは、**メニュー** で終了します。

▲▼ : 選択      **セット** : 決定



### 3 「動きモード」を選ぶ



#### 映像設定

- シャープネス
- 色温度
- 動きモード : オフ
- 映像ミュート : オフ
- 調整リセット

▲▼ : 選択      ◀▶ : 変更

### 4 設定する



#### 映像設定

- シャープネス
- 色温度
- 動きモード : オン
- 映像ミュート : オフ
- 調整リセット

▲▼ : 選択      ◀▶ : 変更



1、4

2 ~ 4



以下の場合には動きモードが選べません。

- BS ハイビジョン放送受信時
- MUSE・HD・PC・フロントPC入力時
- S映像信号入力時
- DVD コンポーネント入力時

設定が終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



# 映像だけを消す

## 映像ミュートをオンにする

映像ミュートの設定について

- 「オフ」にすると : ふだんの状態です。
- 「オン」にすると : 映像が消えます。
- 「オン(表示)」にすると : 映像が消え、現在選んでいる入力を文字で表示します。

### 1 メニュー画面にする



### 2 「映像設定」を選ぶ

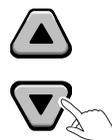


- ▶映像設定
- 音声設定
- 初期設定

すべてのメニューは、**メニュー** で終了します。  
▲▼ : 選択      **セット** : 決定



### 3 「映像ミュート」を選ぶ



#### 映像設定

色温度   
動きモード : オフ  
映像ミュート : オフ  
調整リセット  
メニューへ戻る

▲▼ : 選択    ◀▶ : 変更

### 4 設定する



#### 映像設定

色温度   
動きモード : オフ  
映像ミュート : オン  
調整リセット  
メニューへ戻る

▲▼ : 選択    ◀▶ : 変更



便利

セント・ギガを聞くときなどに使うと便利です。



ご注意

映像ミュートは、AVメモリーには記憶されません。



ひとこと

映像ミュートを解除するには音量・二重音声・フロントサラウンド・オーディオシステム切替・消音以外のボタンを押してください。

設定が終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



# 音質を調整する

高音と低音の調整ができます。  
テレビ、DVD、ビデオなどを見ながら調整してください。

## 1 メニュー画面にする



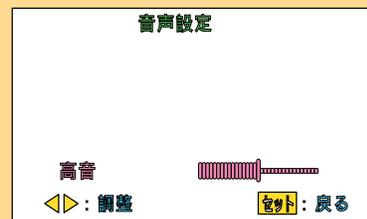
## 2 「音声設定」を選ぶ



## 3 調整する項目を選ぶ



## 4 好みの音質に調整する



調整が終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



ひとこと

手順3で「調整リセット」を選ぶとこのページで調整したことがセンター値になります。



便利

好みに調整した音質をAVメモリーとして記憶させることができます。38ページをご覧ください。

# BS 独立音声放送（セント・ギガ）を聞く

ここではBS独立音声放送（セント・ギガ）を聞くための操作について説明します。

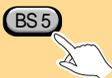
1997年12月現在、BS独立音声放送（セント・ギガ）はBS5チャンネルの独立音声（Aモード）で放送されています。

BS独立音声放送（セント・ギガ）を聞くには、受信契約をしてBSデコーダを用意します。

有料放送の場合には、デコーダの設定を切り換えなければならない場合があります。

デコーダの設定を確認してください。（別冊19ページ）

## 1 BS 5チャンネルを受信する



## 2 メニュー画面にする



## 3 「音声設定」を選ぶ



映像設定  
▶ 音声設定  
初期設定

すべてのメニューは、**メニュー** で終了します。  
▲▼：選択      **セット**：決定



## 4 「音声選択」を選ぶ



音声設定

高音  
低音  
音声選択  
調整リセット  
メニューへ戻る

▲▼：選択    ◀▶：選択

## 5 「独立」に設定する



音声設定

高音  
低音  
音声選択  
調整リセット  
メニューへ戻る

▲▼：選択    ◀▶：選択

設定が終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



3 ~ 5    2、5    1



映像を見たくない場合には、映像だけを消す（映像ミュート31ページ）をご覧ください。

音声の設定

# 臨場感のある音を楽しむ

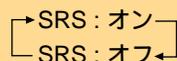
## フロントサラウンド (SRS) を楽しむ

本機の左右のスピーカーで、迫力のあるサラウンド効果を楽しめます。

### 「フロントサラウンド」を押す



押すたびにオン・オフが切り換わります。



SRS(サウンドリトリバルシステム)について  
SRS(サウンドリトリバルシステム)は人間の聴覚にあわせた音場補正を行うことで、2つのスピーカーより再生されるステレオ音声を、より自然で立体的な音に再現する技術です。



4chステレオ(3-1方式)について  
ハイビジョン放送(ミューズ方式)の音声の一つに、4chステレオ(3-1方式)があります。4chステレオ(3-1方式)は、フロント(LR)の音声と、立体感を出すためのサラウンド音声(S) 音声を定位させるためのセンター音声(C)で構成されているので、臨場感のある音響効果が得られます。

The words "SRS", "Sound Retrieval System", and the SRS Symbol (●) are trademarks of SRS Labs, Inc. Patented in the US and selected foreign countries. "SRS is an abbreviation for SOUND RETRIEVAL SYSTEM" \* Registered in the US and selected foreign countries.



# 画質、音質をメモリーする (AVメモリー)

本機はいろいろな映像環境に応じた画質、音質の設定がメモリーされています。この中から好みに応じて選択するか、または自分の好きな画質、音質を設定することができます。

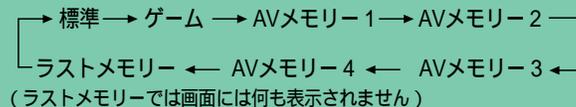
## 設定されている AV メモリーを選ぶ

スポーツや映画、テレビゲームなどのいろいろな映像環境に応じた画質、音質を楽しめます。各入力切替ごとに、最後に選んだ AV メモリーが記憶されます。

### 「標準 / AVメモリー」を押して切り換える



「標準 / AVメモリー」を1度押すと標準になり、画面に表示が出ている間に押すと次のように切り換わります。



- 標準 ..... 画質や音質の設定値がすべてセンター値になります。
- ゲーム ..... テレビゲームや静止画などの映像を見るときに使用します。(次ページをご覧ください。)
- AVメモリー ..... AVメモリー 1 から 4 まで、4 種類の画質や音質の設定を記憶させることができます。
- ラストメモリー (画面には何も表示されません) ..... 画質と音質が、各入力切替ごとに最後に調整された状態になります。



AVメモリーには、自分の好みに調整した画質や音質を「ユーザー設定」として記憶させることができます。また、あらかじめ本機にプリセットされている、リビング・スポーツ・シネマを選んで記憶させることもできます。AVメモリーの設定については38ページをご覧ください。

## ゲームを楽しむとき

「標準 / AVメモリー」を  
押して切り換える



ゲーム ..... テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。明るさを抑えることで本機のディスプレイ内部の焼き付きなどの悪影響を軽減させる働きにもなります。



ご注意

### 画面焼き付きのご注意

本機を永い間ご愛用していただくために...

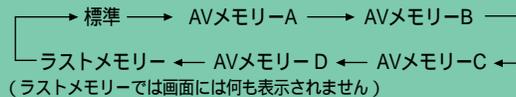
テレビゲームや静止画の再生などは、画面焼き付きなど悪影響を与えることがありますので、必ずAVメモリーを「ゲーム」に設定し、2時間以内のご使用としてください。テレビゲームなどを使用後は、その時間の3倍以上、通常の放送などをナチュラルワイドの画面サイズでご覧になるようにしてください。放送などの動画は画面焼き付きの発生を緩和する効果があり、ディスプレイ内部への悪影響が軽減されます。



ひと言

### PC (パソコン) 入力時の「標準 / AVメモリー」について

PCまたはフロントPC入力時には、「標準 / AVメモリー」を1度押すと標準になり、画面に表示が出ている間に押すと次のように切り換わります。



AVメモリーには、AからDまで4種類の画質や音質の設定をユーザー設定として記憶させることができます。

その他の設定

## 画質、音質をメモリーする (AVメモリー)

### AVメモリーに自分の好みの画質や音質を設定する場合

本機のAVメモリーはAVメモリー1から4(PC入力時にはAからD)まで、4種類の画質や音質の設定を記憶させることができます。

#### 1 あらかじめ画質と音質を自分の好みに調整する

画質を調整する(28ページ)、  
音質を調整する(32ページ)を  
ご覧ください。  
PC入力時の映像調整は63  
ページをご覧ください。

#### 2 メニュー画面にする



#### 3 「初期設定」を選ぶ



映像設定  
音声設定  
▶初期設定

すべてのメニューは、**メニュー** で終了します。  
▲▼: 選択      **セット**: 決定

セット



#### 4 「AVメモリー設定」を選ぶ

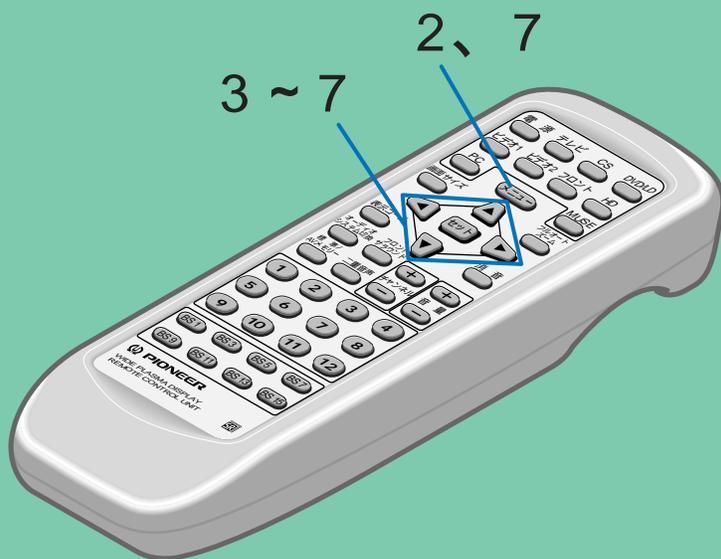


初期設定

チャンネル設定変更  
メニューへ戻る  
AVメモリー設定  
オートパワーオフ : オフ  
BSアンテナ設定

▲▼: 選択      **セット**: 決定

セット





AVメモリーには、自分の好みに調整した画質や音質を「ユーザー設定」として設定する以外に、あらかじめ本機にプリセットされている、リビング・スポーツ・シネマを設定することができます(PCまたはフロントPC入力時には設定できません)。

リビング .... ゆったり楽しめるような、ソフトで見やすい映像になります。

シネマ ..... コントラスト感を抑え、暗い映像を見やすくします。夜の背景など、暗い画面の多い映画などに効果的です。

スポーツ .... くっきりとした色鮮やかな映像と、広がりのある音で、スポーツ番組を臨場感と迫力にあふれたものにします。

## 5 「AVメモリー 1 ~ 4」のどれかを選ぶ



(例：AVメモリー 1)

初期設定  
AVメモリー設定  
AVメモリー 1 : ユーザー設定 1  
AVメモリー 2 : リビング  
AVメモリー 3 : シネマ  
AVメモリー 4 : スポーツ  
戻る  
▲▼ : 選択 ◀▶ : 変更 セット : 決定

## 6 ユーザー設定かプリセットされているリビング・シネマ・スポーツを選ぶ



(例：ユーザー設定 1)

初期設定  
AVメモリー設定  
AVメモリー 1 : ユーザー設定 1  
AVメモリー 2 : リビング  
AVメモリー 3 : シネマ  
AVメモリー 4 : スポーツ  
戻る  
▲▼ : 選択 ◀▶ : 変更 セット : 決定



## 7 AVメモリーを登録する



初期設定  
AVメモリー設定  
AVメモリー 1 にメモリーしますか?  
はい ◀ ▶ いいえ  
▶ : 変更 セット : 決定



設定が終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



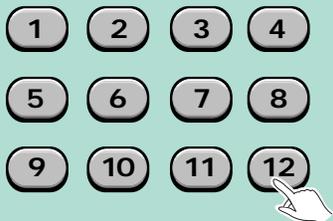
その他の設定

# 受信チャンネルを自動で設定する

本機をご使用の地域にあったチャンネルを自動的に設定します。  
設定できるチャンネルの数は24です。

## 1 テレビのチャンネルを選ぶ

(例：12チャンネル)



## 2 メニュー画面にする



## 3 「初期設定」を選ぶ



映像設定

音声設定

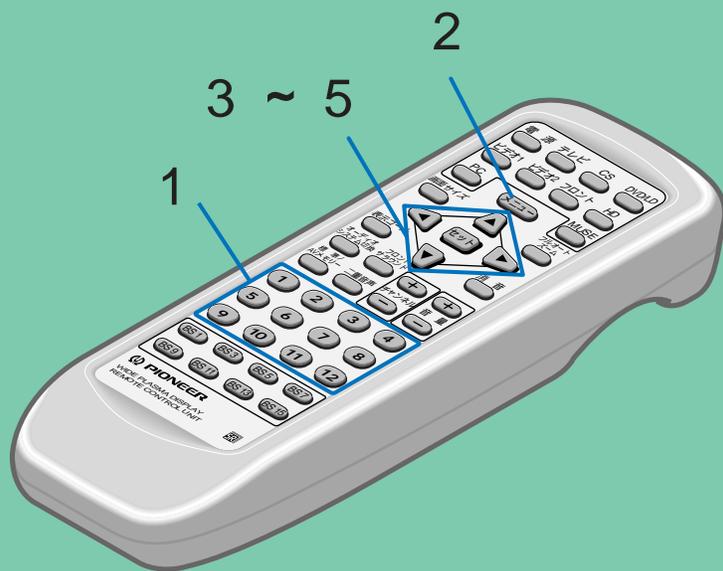
▶初期設定

すべてのメニューは、 で終了します。

: 選択

: 決定

セット



ひとこと

13 ~ 24 に設定したチャンネルを見るには  
リモコンのチャンネル番号を2回続けて押  
します。  
1チャンネルを2回続けて押すと13チャ  
ンネルが表示されます。





自動設定を途中でやめたいときは「メニュー」を押します。(自動設定を途中でやめると、チャンネルは設定されません。)

残量表示について  
自動設定を行っている間、画面に



と、表示されます。  
これは、自動設定が終了するまでにかかる時間を表示しています。

#### 4 「チャンネル自動設定」を選ぶ



##### 初期設定

AVメモリー設定  
オートパワーオフ : オフ  
チャンネル自動設定  
チャンネル設定変更  
メニューへ戻る

▲▼ : 選択      電球 : 決定



#### 5 「はい」を選ぶ



##### 初期設定

チャンネル自動設定しますか？

はい ◀ ▶ いいえ

▶ : 変更      電球 : 決定



受信できるチャンネルを VHF UHF CATVの順に自動的に設定します。自動設定は、1～12チャンネルを設定してから、13チャンネル以上に移ります。好きなチャンネルを設定したいときは、次ページの操作を行ってください。

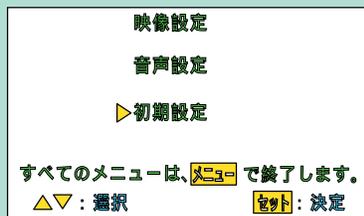
# チャンネルを自分で設定する(チャンネル表示を書き換える)

- ・ UHF放送を見るときは、チャンネル番号1～24のうちの空いているチャンネルに、見たい放送局を設定します。(CATVを受信する場合も、同じように放送局を設定します。)
- ・ VHFチャンネルはお買い上げ時にすでに設定されていますが、放送のないチャンネルをとばすために、設定し直すことができます。
- ・ チャンネル表示は、通常“1”のように数字で表示されますが、好みに応じて“NHK”というように表示内容を書き換えることができます。(表示文字数は最大6文字まで)

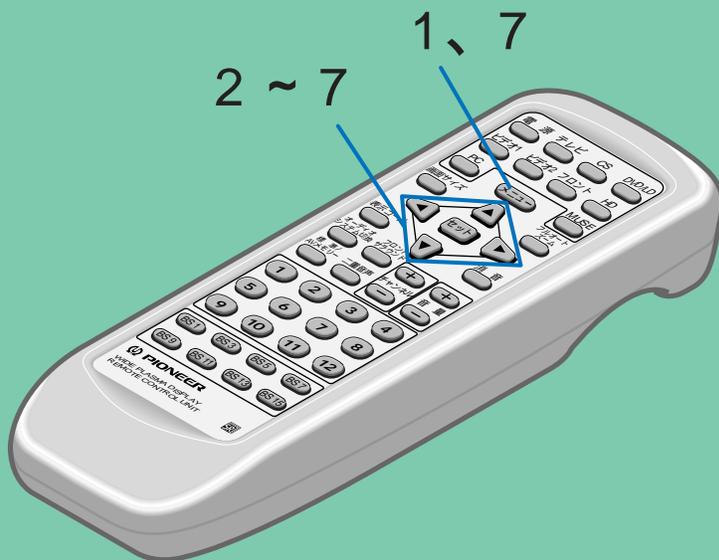
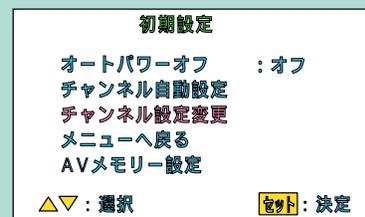
## 1 メニュー画面にする



## 2 「初期設定」を選ぶ



## 3 「チャンネル設定変更」を選ぶ



#### 4 空きチャンネル( - - ) を選ぶ



(例: 5チャンネル)

初期設定 チャンネル設定変更		
リモコン	CH(設定)	表示
3	3	TV 3
4	4	TV 4
5		
6	6	TV 6
7		

▲▼: 選択 ◀▶: 変更 セット: 戻る

#### 5 「CH(設定)」の列で、放 送局を選ぶ



(例: 42チャンネル)

初期設定 チャンネル設定変更		
リモコン	CH(設定)	表示
3	3	TV 3
4	4	TV 4
5	42	TV 42
6	6	TV 6
7		

▲▼: 選択 ◀▶: 変更 セット: 表示

セット: 表示が表示されたら



リモコン 5 に TV42 チャンネル  
が設定され、次のページの手順 6  
の画面になります。



ひとこと

お買い上げ時のチャンネル設定について

チャンネル番号 1 ~ 12 には、VHF 放送の 1 ~ 12 チャンネル  
が設定されています。

13 ~ 24 に設定したチャンネルを見るには  
リモコンのチャンネル番号を 2 回続けて押  
します。

1チャンネルを2回続けて押すと13チャン  
ネルが表示されます。



便利

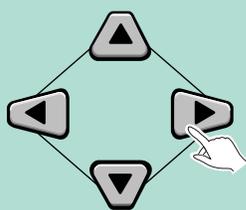
放送のないチャンネルをとばすには

チャンネルボタン(+、-)で選局時に、登録されている映りの  
悪いチャンネルをとばすことができます。

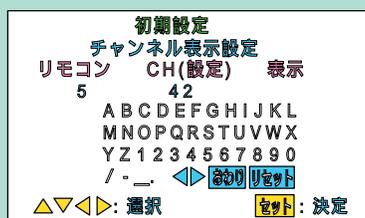
手順 4 でとばしたいチャンネルを選び、手順 5 で“ - - ”を選ん  
だ後、「メニュー」を押してください。

## 6 好みの表示内容を▲、▼、◀、▶で入力する。

- ・ 6文字まで入力できます。(例の“TVK”のように3文字の場合は、最初に3文字分スペースを入力しておきます。)



(例：TVK)



文字を1つ選んだら



選んだ文字が決定され、カーソルが右に1つ移ります。  
次の文字も同じように入力します。



リセットを選ぶと、表示の内容が受信しているチャンネル番号を表示します。

入力に使用できる文字は次の41文字です。  
「A～Z、0～9、/、-、\_、.(ピリオド)  
(スペース)」



入力を間違えたときは



この◀、▶を選んで、

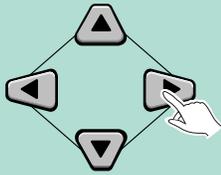


間違えた部分にカーソルを戻します。

あとは手順6と同様に直したい文字を選んで、



## 7 チャンネル表示を決定する



**設定** を選んで、



設定が終わったら「メニュー」を押し  
て、通常画面に戻す。



# 入力表示を書き換える

LD/DVDやビデオ1、ビデオ2、PC(パソコン)などの入力に切り換えたときに画面に表示される内容を、書き換えることができます。

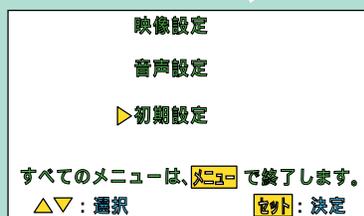
例えば、ふつうは“DVD/LD”と表示されるところを“DVL-9”というように製品の型番で表示させることができます。(表示文字数は最大6文字まで)

例：“DVD/LD”という入力切替の表示を、“DVL-9”と書き換える場合  
書き換えたい入力を選んでから、以下の手順で書き換えます。

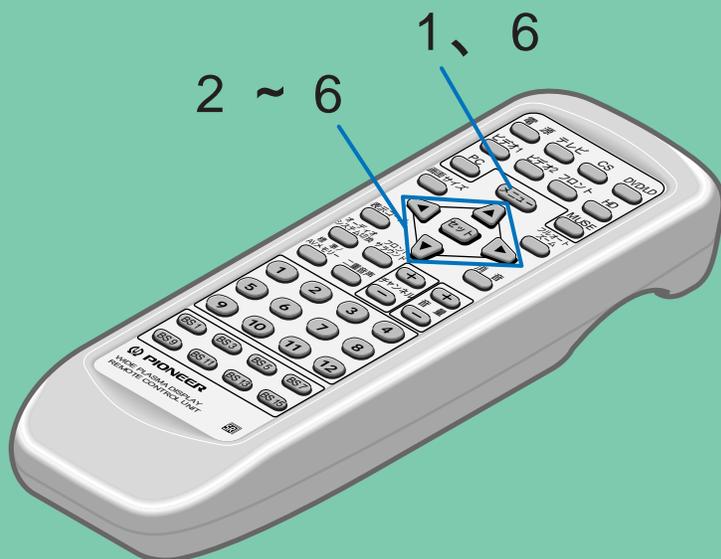
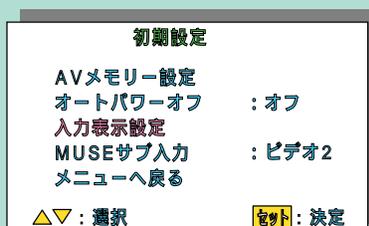
## 1 メニュー画面にする



## 2 「初期設定」を選ぶ



## 3 「入力表示設定」を選ぶ



#### 4 書き換えたい入力表示を選ぶ



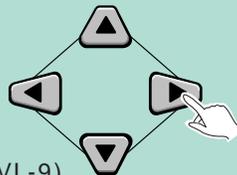
初期設定	
入力	表示
MUSE	MUSE
CS	CS
DVD/LD	DVD / LD
ビデオ1	ビデオ1
ビデオ2	ビデオ2

△▽: 選択      設定: 決定



#### 5 ▲、▼、◀、▶で文字を選んで入力する

- 6文字まで入力できます。(例の“DVL-9”のように5文字の場合は、最初に1文字分スペースを入力しておきます。)



(例: DVL-9)

初期設定	
入力	表示
DVD/LD	VD / LD
ABCDEF	GHIJKL
MNOPQR	STUVWX
YZ1234	567890
/ - .	◀ 設定 ▶

△▽◀▶: 選択      設定: 決定

文字を1つ選んだら



選んだ文字が決定され、カーソルが右に1つ移ります。次の文字も同じように入力します。



入力を間違えたときは

MNOPQRSTU	VWX
YZ1234567890	
/ - .	◀ 設定 ▶

△▽◀▶: 選択      設定: 決定

この◀、▶を選んで、

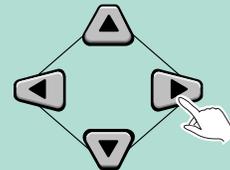


間違えた部分にカーソルを戻します。

あとは手順5と同様に直したい文字を選んで、



#### 6 入力表示を決定する



初期設定	
入力	表示
DVD/LD	DVL - 9
ABCDEF	GHIJKL
MNOPQR	STUVWX
YZ1234567890	
/ - .	◀ 設定 ▶

△▽◀▶: 選択      設定: 決定

◀ を選んで、



書き換えが終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



入力に使用できる文字は次の41文字です。

「A ~ Z、0 ~ 9、/、-、.、  
.(ピリオド) (スペース)」

その他の設定

# 画面サイズを切り換える

- ・本機は、様々な縦横比の画面モードに対応しています。受信番組や使用するソフトに合った正しい画面モードでご覧になることをお勧めします。
- ・ワイド画像でない4：3の映像をナチュラルワイドやシネマワイド、ズーム、フルを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、画像が一部欠落したり、変形して見えます。これらの機能は、映像をワイドな画面いっぱいに映すものですが、ご使用にあたっては、制作者の意図を十分に尊重して、お楽しみいただくことをお勧めいたします。

## 自動で切り換える（フルオートズーム）

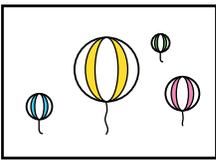
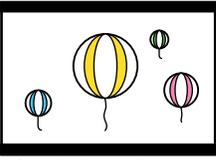
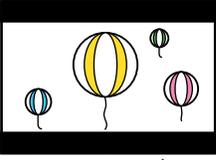
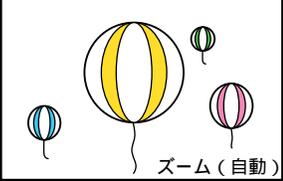
フルオートズーム機能は、見ている映像に適した画面サイズに、自動的に切り換えます。スポーツ番組や映画を見るときには、広がり感のある迫力の映像が楽しめます。（PCまたはフロントPC入力時には使えません。）



### 「フルオートズーム」を押す



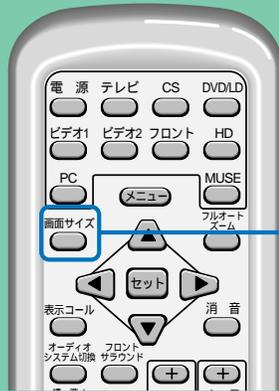
オンにするとフルオートズーム機能が働きます。  
オフにするとフルオートズーム機能は働きません。

4:3 テレビの画面状態	フルオートズームが オンのときの画面状態	
 ノーマル	 ナチュラルワイド（自動）	4：3映像は、ナチュラルワイドに切り換えます。 <b>ご注意：</b> 夜の背景など暗い場面の場合、シネマワイド、ズームに切り換わる場合があります。このようなときは、フルオートズーム機能をオフにしてください。
 ピスタサイズ	 シネマワイド（自動）	黒帯のある横長のワイド映像ソフト（ピスタサイズ、シネスコサイズなど）は、上下の黒帯をカットして、見やすい画面サイズに切り換えます。 <b>ご注意：</b> ・レーザーディスクやビデオのソフトによっては、画面上下の一部が欠けたり、黒帯が見えることがあります。 ・映像信号の種類によっては、フルオートズームのオン/オフに関わりなく、画面サイズは自動で切り換わります。
 シネスコサイズ または 16：9サイズ	 ズーム（自動）	50ページをご覧ください。

## 手動で切り換える

画面に映る映像の大きさや、映し出す映像の範囲を 5 種類の画面サイズに切り換えることができます。

(PC または フロント PC 入力時には、オリジナル、4:3 ノーマル、フルの 3 種類の画面サイズを、周波数によって切り換えることができます。本機が対応する画面サイズについては、59 ページの PC 入力信号対応表をご覧ください。)



### 「画面サイズ」を押して切り換える

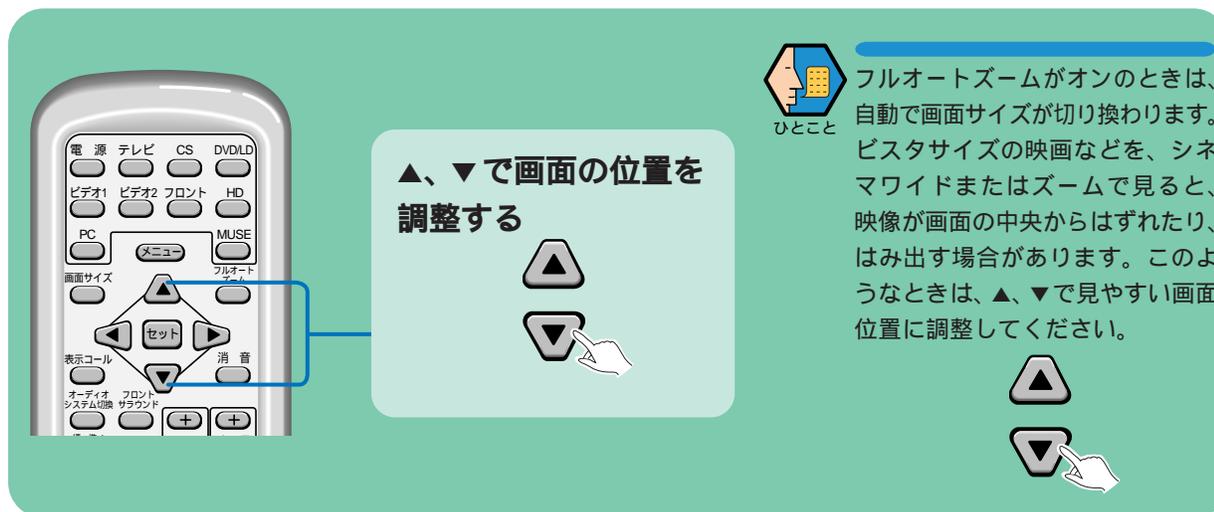


画面サイズ切替ボタンを押すとフルオートズーム機能はオフになります。

		普通のテレビ番組のときの見え方
画面サイズ切り換え	従来のテレビ	
	ナチュラルワイド	ニュースやスポーツ番組などを見るときに適しています。映画やスポーツ番組などでは、広がり感のある迫力の映像が楽しめます。
	4対3ノーマル	ニュースやドラマ番組などを見るときに適しています。映像ソフト本来の画面枠の形で見ることができます。 (本機は画面の焼き付きを防ぐため、電源を入れるたびに画面枠の表示位置を少しずつ変えています。)
	フル	ハイビジョン映像、またはワイド画面用の映像(スクイーズ)に適しています。
	ズーム	劇場サイズの映像のうち、主に「シネスコ(シネマスコープ)サイズ」の映像を見るときなどに適しています。より広がり感のある迫力の映像が楽しめます。
	シネマワイド	劇場サイズの映像のうち、主に「ビスタサイズ」の映像を見るときなどに適しています。より広がり感のある迫力の映像が楽しめます。字幕スーパー付きのシネスコサイズの映像を見るときにはこの画面サイズが便利です。

## 画面の位置を上下に動かす

画面サイズがズームまたはシネマワイドのとき ▲、▼ で画面の位置を調整できます。



**▲、▼で画面の位置を調整する**

**ひとこと**  
フルオートズームがオンのときは、自動で画面サイズが切り換わります。ピスタサイズの映画などを、シネマワイドまたはズームで見ると、映像が画面の中央からはずれたり、はみ出す場合があります。このようなときは、▲、▼で見やすい画面位置に調整してください。

## 受信した信号によって画面サイズが自動で切り換わる

S1、S2 映像信号またはワイドクリアビジョン放送、MUSE 信号、ハイビジョン信号などを識別すると、自動的に画面サイズが切り換わり、下の表のような画面表示が出ます。

受信内容	動作内容	画面表示
MUSE、HD、BS ハイビジョン放送などのハイビジョン信号を受信すると	識別制御信号を識別して自動的に画面サイズが「フル」になります	フル（自動：HD/MUSE）
ワイドクリアビジョン放送を受信すると	識別制御信号を識別して自動的に画面サイズが「ズーム」になります	ズーム（自動：EDTVII）
S1 映像信号を受信すると	識別制御信号を識別して自動的に画面サイズが「フル」になります	フル（自動：スクイーズ）
S2 映像信号を受信すると	識別制御信号を識別して自動的に画面サイズが「ズーム」になります	ズーム（自動：レターボックス）



ご注意

本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店・ホテル等において、ワイドモードおよびズームモードなどの画面モードの切り換え機能を利用して、画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法により保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。



ご注意

画面モードが切り換わる時、画像が途切れますが、故障ではありません。

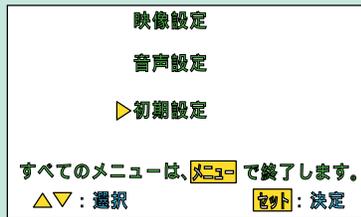
# 電源を自動的に切る

本機は、オートパワーオフ機能により、8分以上画像信号を検知しない場合、自動的に電源をスタンバイ状態にすることができます。(スタンバイ状態になる前に、画面にお知らせの表示<オートパワーオフ>が出ます)  
PC入力時の省電力機能(パワーマネジメント機能)については、67ページをご覧ください。

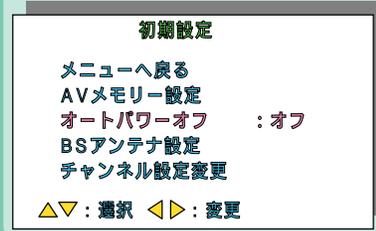
## 1 メニュー画面にする



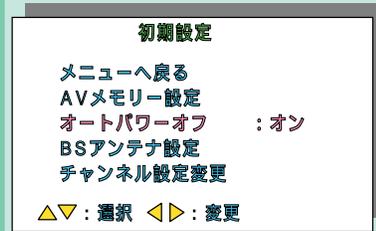
## 2 「初期設定」を選ぶ



## 3 「オートパワーオフ」を選ぶ



## 4 「オン」に設定する



ひとこと

動作状態に戻すには  
リモコンの電源ボタンを押します。



ご注意

オートパワーオフ機能はPC入力時には選択できません。

テレビ放送の受信状態によっては、他の放送局の電波をひろって、オートパワーオフ機能が働かない場合があります。

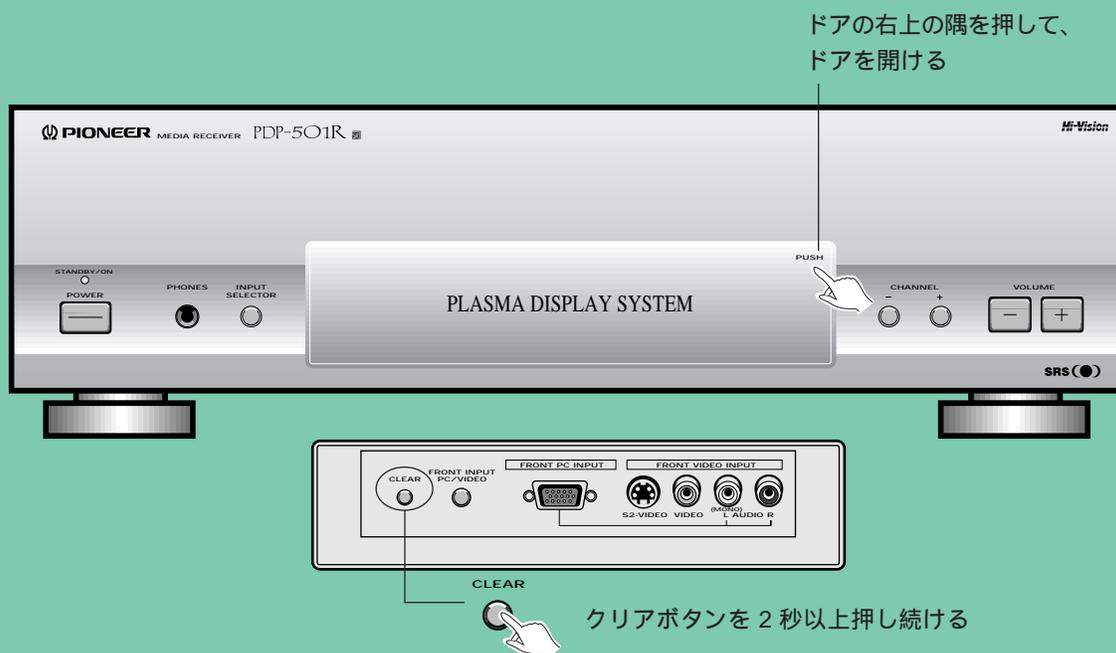
設定が終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



その他の設定

# 機能を初期の設定状態に戻す

クリアボタンは、いろいろな設定をした後で、その状態がわからなくなってしまった時に押すと便利です。メディアレシーバーのフロントドアを開け、2秒以上続けてクリアボタンを押します。本機の設定が次のようになります。



音声ミュート (消音) (17 ページ)	: 機能オフ
映像ミュート (31 ページ)	: 機能オフ
メニュー (27 ページ)	: 機能オフ
フロントサラウンド (34 ページ)	: 機能オフ
フルオートズーム (48 ページ)	: 機能オフ
パワーマネージメント (67 ページ)	: 機能オフ
オートパワーオフ (51 ページ)	: 機能オフ
MUSE サブ入力 (別冊 26 ページ)	: 機能オフ
EFM 音声 (別冊 28 ページ)	: 機能オフ
G ON SYNC (66 ページ)	: 機能オフ
PC 動画モード (64 ページ)	: 機能オン
PICALIN (65 ページ)	: 機能オン
入力切換 (10 ページ)	: テレビ
音声選択 (33 ページ)	: テレビ
オーディオシステム切換 (55 ページ)	: 内部
画面サイズ (48 ページ)	
・ PC 入力時以外	: ナチュラルワイド
・ PC 入力時	: オリジナルまたは 4 : 3 ノーマル
画面の垂直位置 (50 ページ)	: センター値
AV メモリー (36 ページ)	: 標準
二重音声 (22 ページ)	: 主
MUSE 音声 (35 ページ)	: ミックス
音量	: 5 目盛り



次の3つの設定は、最後の設定状態が記憶されています。クリアボタンを押しても、リセットされません。

- ① フロント入力切換 (12 ページ)
- ② チャンネル設定 (40 ページ)
- ③ ユーザー設定 1 ~ 4 (A ~ D) として設定を記憶させている AV メモリー (38 ページ)



本機がスタンバイ状態のときにクリアボタンを1度押すと電源が入ります。(12 ページ)

本機はホームシアターへの発展が可能です。メディアレシーバーのリアパネルにはホームシアターに必要な入出力端子が用意されています。

ホームシアターにする方法には、

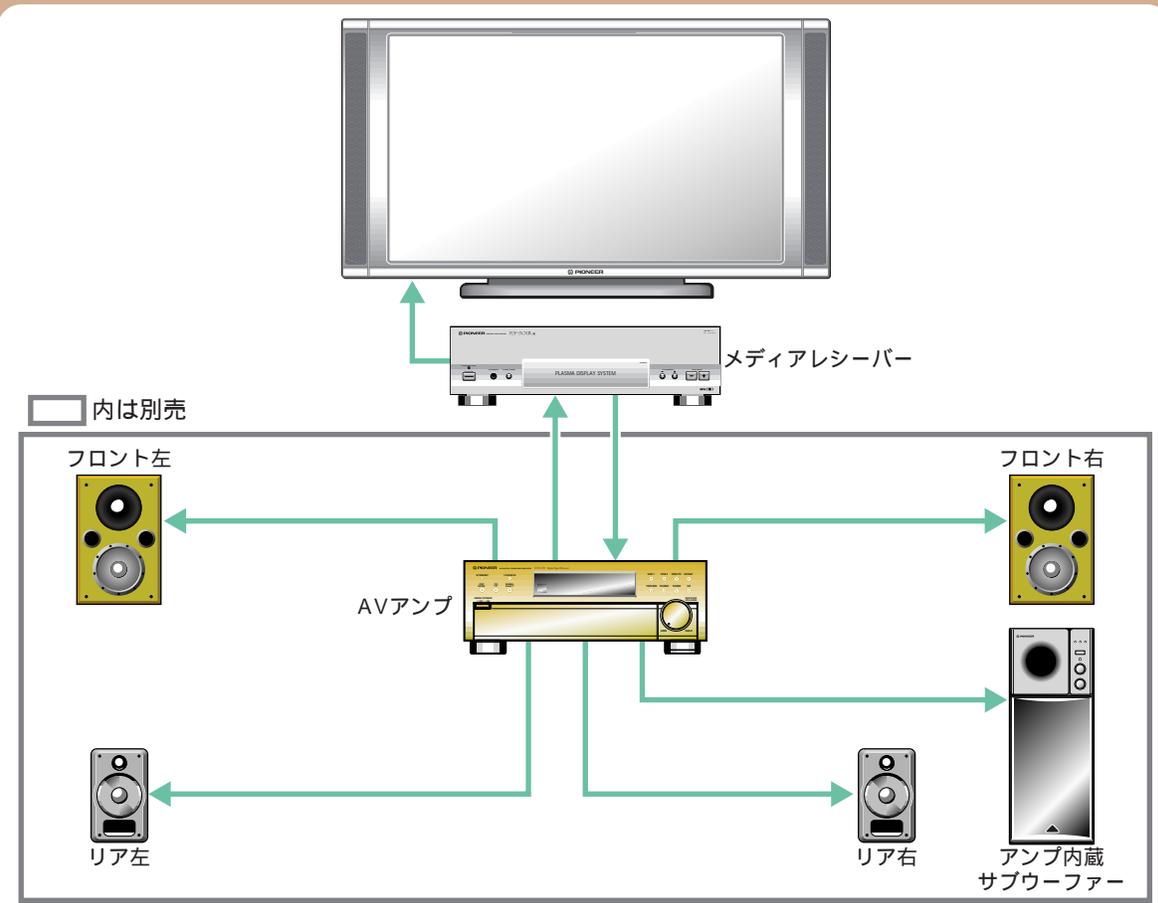
1. 下図の例のように、本機のスピーカーをセンタースピーカーに使い、別売のAVアンプと複数のスピーカーを使う方法

2. 別売のサブウーファーを使った簡易的な方法（56ページ）

などがあります。

1の方法では、次のページに説明するホームシアターの接続を行ってください。

## ホームシアター について



ホームシアター

ホームシアターに関するご相談は、パイオニアお客様相談センターにお問い合わせください。

# ホームシアターの接続

## AV ステレオアンプとつなぐ

AV ステレオアンプとつないで「デジタルホームシアター」のコンポーネントディスプレイとして使います。

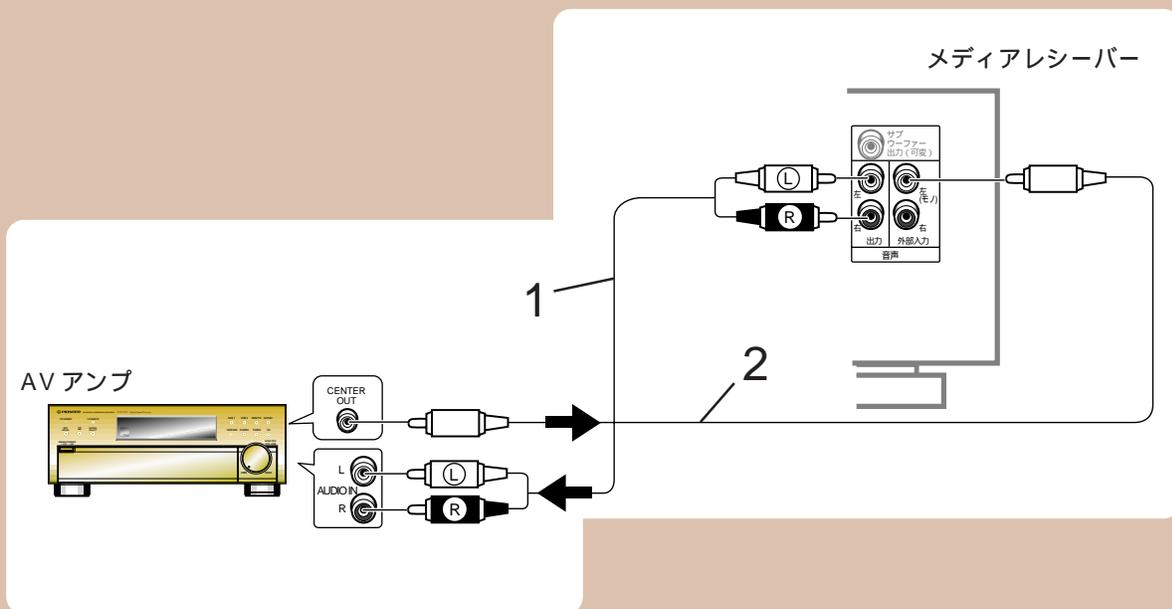
### 1 メディアレシーバーの音を AV ステレオアンプを使って聞くには

AVステレオアンプの「オーディオ入力」端子とメディアレシーバーの「音声出力」端子をステレオオーディオコードでつなぐ。

### 2 ディスプレイのスピーカーをホームシアターのセンタースピーカーに使うには

AVステレオアンプの「CENTER OUT」端子とメディアレシーバーの「音声外部入力・左(モノ)」端子をオーディオコードでつなぐ。

「左」の接続だけでディスプレイの左右のスピーカーから音が出ます(音声はモノラルです)。



AVステレオアンプの「CENTER OUT」端子が1つでない場合は、お使いのAVステレオアンプの取扱説明書をよくお読みになってお使いください。

## AV ステレオアンプとつないで音を出すには

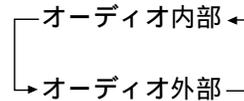
### オーディオシステムを外部に切り換える



#### オーディオシステム切替

外部に AV ステレオアンプなどをつないだ時に、オーディオシステムを内部（メディアレシーバー）と外部（AV ステレオアンプなど）に切り換えるときに押します。

オーディオシステム切替ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



メディアレシーバーのアンプを使うときは、オーディオ内部にします。  
メディアレシーバーのアンプを使わないときは、オーディオ外部にします。



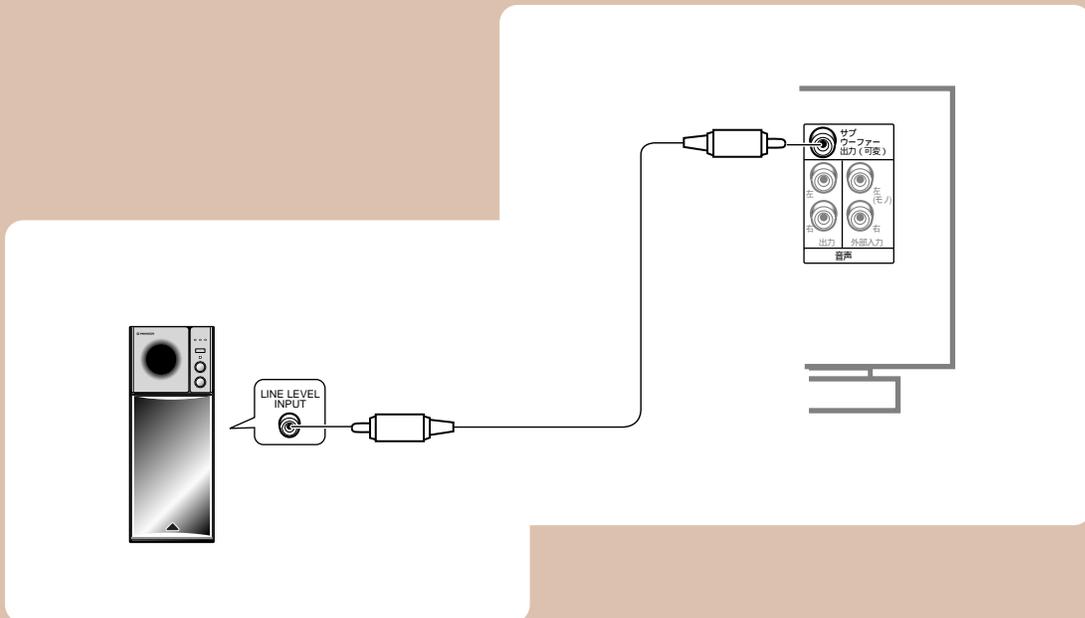
ホームシアター



外付けのアンプの電源を切ったときは、オーディオシステム切替を「オーディオ内部」にしてください。

## 簡易的にホームシアターを楽しむ

メディアレシーバーにアンプ内蔵のサブウーファーを接続すると、簡易的なホームシアターを楽しむことができます。この接続で簡易的にホームシアターを楽しむ場合、オーディオシステム切換をする必要はありません。



### 音量ボタンで音量を調整する



本機のスピーカーと、接続したアンプ内蔵サブウーファーの音量が調整されます



メディアレシーバーのフロントパネルにある音量ボタンでも操作できます。

お使いのアンプ内蔵サブウーファーの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

# 本機をパソコン のディスプレイ として使う



パソコン

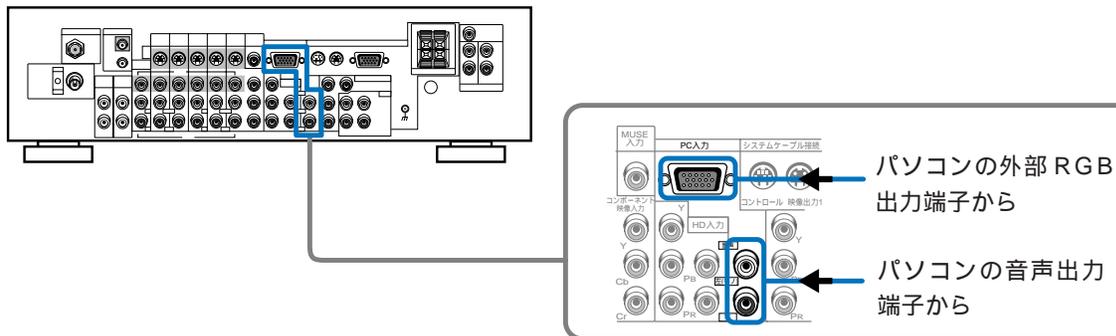
# 接続の前に

本機はパソコンを接続し、プラズマディスプレイならではの高画質・高解像度・大画面で表示することができます。デスクトップ型パソコンをリアパネルに、ノート型パソコンをフロントパネルに接続すると、合計2台まで本機にパソコンを接続することができます（同時に2台のパソコンの映像を表示することはできません）。

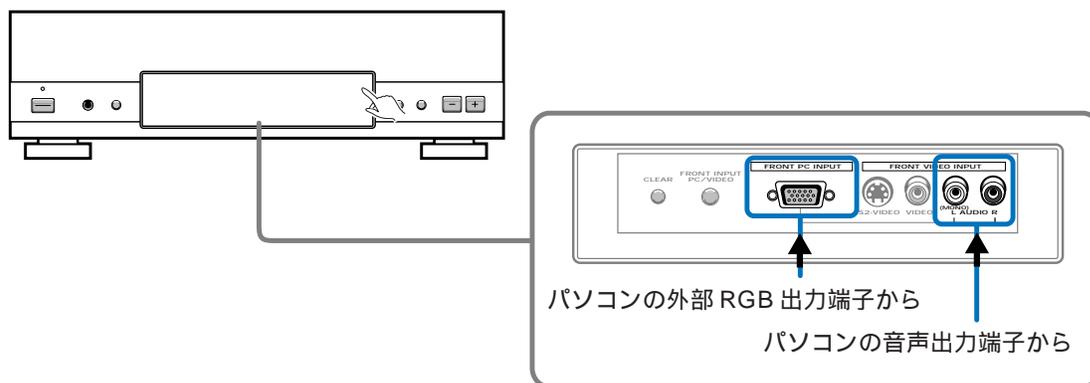
本機はMicrosoft社のPlug & Play（VESA DCC1/2 B）に対応しています。

本機はVESAの省電力規格DPMSに準拠しています。

## リアパネル接続部分



## フロントパネル接続部分



ご注意

接続の前に、必ずパソコンの電源と、本機の主電源が切れていることを確認してください。本機の主電源の切りかたについては9ページをご覧ください。



ひとこと

パソコンの音声を本機のスピーカーで聞くには、パソコンの音声出力端子と、本機のPC音声入力端子またはフロント音声入力端子を接続します。



ご注意

## 画面焼き付きのご注意

静止した画面を長い時間表示すると、画面が焼き付く恐れがあります。

ご使用の後、普通のテレビ放送をナチュラルワイドの画面サイズでご覧になると画面の焼き付きを緩和する効果があります。

本機はPCまたはフロントPC入力時に、画面の焼き付きを防ぐため、電源を入れるたびに画面枠の表示位置を少しずつ変えています。

### PC 入力信号対応表

機種名	入力サイズ ドット×ライン	水平周波数 kHz	垂直周波数 Hz	画面サイズ		
				オリジナル	4:3 ノーマル	フル
NEC PC-9800	640 × 400	24.8	56.4			
		31.5	70.1			
	640 × 480	31.5	59.9			
		37.5	75			
	800 × 600	37.9	60.3			
		46.9	75			
1024 × 768	56.5	70.1				
	60	75				
1280 × 1024	64	60				
PC/AT 互換機	640 × 400	31.5	70.1			
		31.5	59.9			
	640 × 480	37.9	72.8			
		37.5	75			
		35.2	56.3			
	800 × 600	37.9	60.3			
		48.1	72.2			
		46.9	75			
		48.4	60			
	1024 × 768	56.5	70.1			
		60	75			
		35.5	87 *			
64		60				
1280 × 1024	64	60				
Macintosh	640 × 480	35	66.7			
		49.7	74.6			
	832 × 624	49.7	74.6			
	1024 × 768	60.2	74.9			
1152 × 870	68.7	75.1				

：映像の位置、周波数、位相などの調整が必要になる場合があります。

：映像は再生されますが、細かい情報は見にくくなります。

\*：インターレースの信号です。フレーム周波数は 43.5Hz となります。



PC 入力時の画面サイズ切り換えについて  
パソコンから本機に入力される画面サイズをそのまま再生する「オリジナル」と、「4:3 ノーマル」、「フル」の3種類の画面サイズを、周波数によって切り換えることができます。画面サイズの切り換えは、リモコンの画面サイズ切替ボタンを押して行います。(49 ページ)  
本機が対応する画面サイズについては、PC 入力信号対応表をご覧ください。



パソコン画面を表示している時に、CD-ROM や DVD などの動画を見る場合は、PC 動画モード(64 ページ)を使用すると、映像のぼけなどを軽減することができ、より見やすい映像にすることができます。

DPMS( Display Power Management Signaling )は Video Electronics Standards Associationの商標です。VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

Macintosh® は Apple Computer Inc. の登録商標です。PC-9800® は日本電気(株)の商標です。NEC は日本電気(株)の登録商標です。

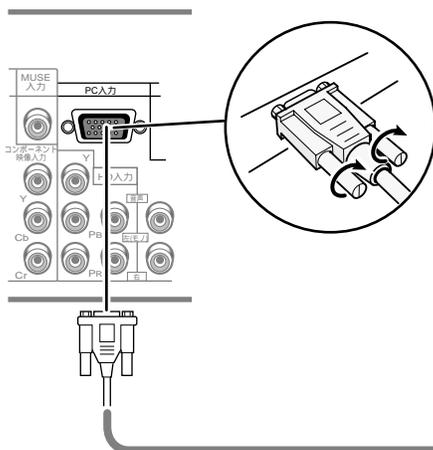
# パソコンとのつなぎかた

## パソコンとの接続

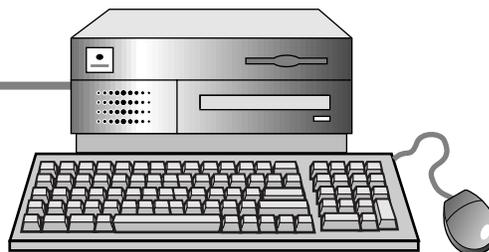
パソコンの種類によって接続方法が違います。接続するときは、パソコンの取扱説明書もよくお読みください。

### IBM PC またはその互換機 (DOS/V) と接続する

- ・ デスクトップタイプ  
(リアパネルへの接続)

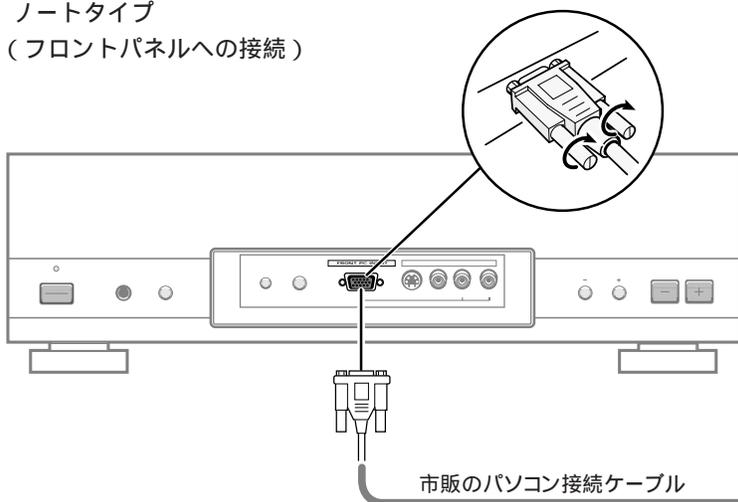


市販のパソコン接続ケーブル



ケーブルは、本機の信号入力端子とパソコンのRGB 信号出力端子の形状に合わせて差し込み、両端のねじでしっかりと固定してください。

- ・ ノートタイプ  
(フロントパネルへの接続)



市販のパソコン接続ケーブル



ご注意

接続するパソコンのモデルによっては、パソコン側に付属または別売の変換コネクタ、アナログRGB出力アダプタなどが必要になることがあります。詳しくは、お近くの販売店にお問い合わせください。

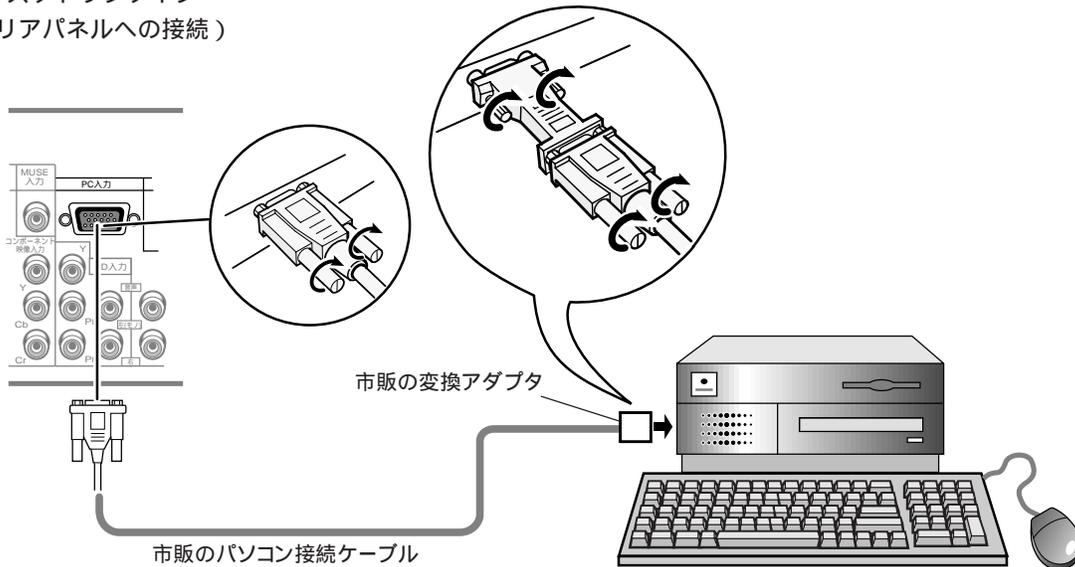


ひとこと

本機が対応する画像解像度、画面サイズについては、59 ページの PC 入力信号対応表をご覧ください。

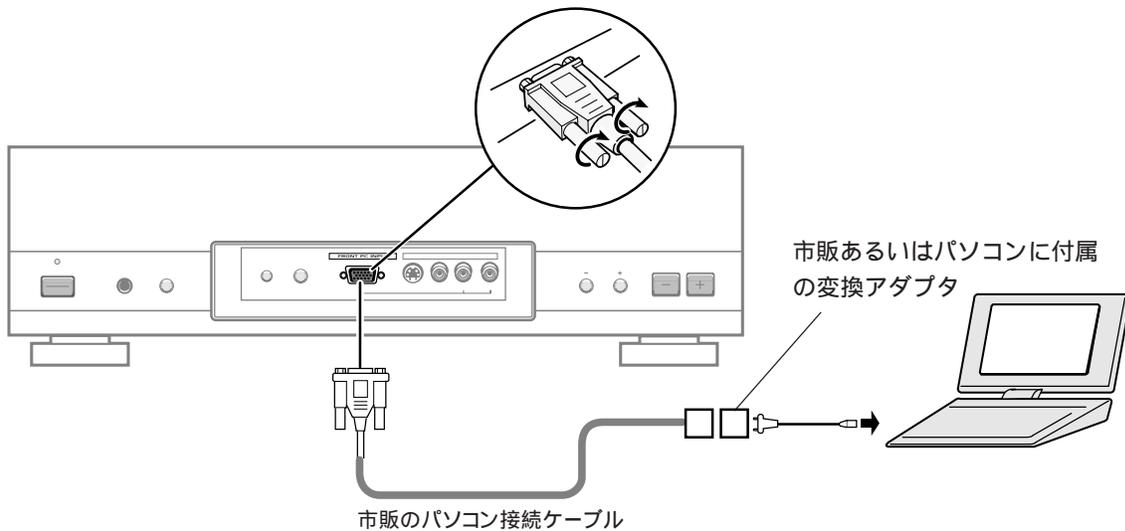
Macintosh®, NEC PC-9800® シリーズまたはその互換機を接続する

- ・ デスクトップタイプ  
(リアパネルへの接続)



- ・ ノートタイプ  
(フロントパネルへの接続)

ケーブルは、本機の信号入力端子とパソコンのRGB信号出力端子の形状に合わせて差し込み、両端のねじでしっかりと固定してください。



パソコン



ご注意

ノートパソコンは、内蔵液晶パネルに表示される画面サイズと外部RGB出力端子から外部に出力される画面サイズが違う場合があります。お使いのパソコンの取扱説明書をよくお読みください。



ひとこと

本機が対応する画像解像度、画面サイズについては、59ページのPC入力信号対応表をご覧ください。

# パソコンの画面を映すには

ここではパソコンの映像を映すための操作について説明します。

操作の前にならず次の接続と準備ができていることを確認してください。

- ① パソコンをつなぐ。(60 ページ)
- ② 本機の主電源が入り、スタンバイ状態になっている。(9 ページ)

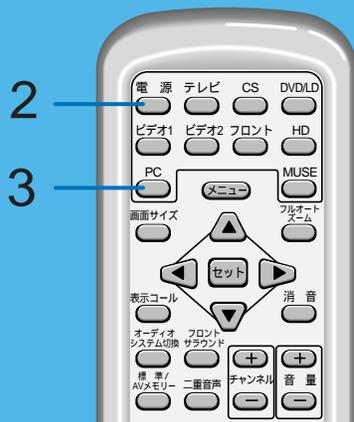
## パソコンを背面の PC 入力端子に接続している場合

### 1 パソコンの電源を入れる

### 2 本機の電源を入れる



### 3 「PC」を選ぶ



## パソコンを前面の PC 入力端子に接続している場合

### 1 パソコンの電源を入れる

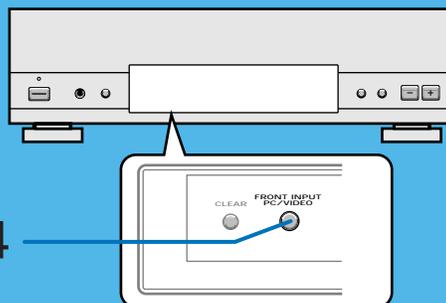
### 2 本機の電源を入れる



### 3 「フロント」を選ぶ



### 4 本機のフロントパネルのドアを開き、「フロント入力切換」ボタンを押して「フロント PC」を選ぶ



パソコンを G ON SYNC の設定でお使いの場合、画面上での G ON SYNC の設定が必要です (66 ページ)。  
お使いのパソコンの接続方法をご確認ください。

# 映像を調整する

ここではパソコンの映像を調整するための操作について説明します。

## 1 メニュー画面にする



調整した映像をAVメモリーとして記憶させることができます。38 ページをご覧ください。

## 2 「映像設定」を選ぶ



▶映像設定  
音声設定  
初期設定

すべてのメニューは、**メニュー** で終了します。  
▲▼: 選択      **セット**: 決定



## 3 調整する項目を選ぶ



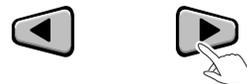
映像設定

コントラスト      
明るさ              
Rレベル             
Gレベル             
Bレベル           

▲▼: 選択      **セット**: 決定



## 4 映像を調整する



映像設定

Rレベル             
◀▶: 調整      **セット**: 戻る



調整が終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



### 各調整項目は以下の要領で調整します。

コントラスト ..... 周囲の明るさに合わせて見やすくなるように調整します。

明るさ ..... 画面の暗い部分が見やすくなるように調整します。

R レベル ..... 画面上の Red の強さを調整します。

G レベル ..... 画面上の Green の強さを調整します。

B レベル ..... 画面上の Blue の強さを調整します。

クロック周波数 ..... 画面上の文字に欠落が生じた場合や、虹状のノイズが気になる場合にこの機能を使います。この機能は、入力映像信号に対する本機内部のクロック信号の周波数を調整するものです。

クロック位相 ..... 画面上の文字にちらつきや色ずれなどが生じた場合に、この機能を使って調整します。この機能は、入力映像信号に対する本機内部のクロック信号の位相を調整するものです。

画面位置 (水平) ... 映像の左右位置を調整します。

画面位置 (垂直) ... 映像の上下位置を調整します。

調整リセット ..... 上記の映像調整値をセンターに戻します。

# 映像をより見やすくする

## PC 動画モードについて

パソコンで様々な操作をするときや、CD-ROM、DVD-ROMなどで動画を見るときに、この設定がオンになっていると、より見やすい映像になります。

- ・主に静止画を見る場合には、設定をオフにしてご使用ください。

### 1 メニュー画面にする



### 2 「初期設定」を選ぶ



映像設定  
音声設定  
▶初期設定

すべてのメニューは、**メニュー** で終了します。  
▲▼: 選択      **セット**: 決定



### 3 「PC動画モード」を選ぶ



初期設定

パワーマネジメント : オフ  
入力表示設定 : オフ  
PC動画モード : オン  
PICALIN : オン  
G ON SYNC : オフ

▲▼: 選択      ◀▶: 変更

### 4 設定する



初期設定

パワーマネジメント : オフ  
入力表示設定 : オフ  
PC動画モード : オフ  
PICALIN : オン  
G ON SYNC : オフ

▲▼: 選択      ▶▶: 変更

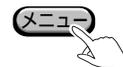


ご注意

出荷時には、PC動画モードはオンに設定されています。

水平周波数 35.5kHz、垂直周波数 87Hz のインターレース信号を、1024 × 768 の入力サイズでご使用になる場合、PC動画モードは動きません。

設定が終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



# PICALIN 機能について

PC 入力時に映像を明るくしたいときに、設定をオンにします。

PICALIN の設定をオンにすると、入力信号の変化によって映像の輝度が変化します。操作中に輝度の変化が気になる場合は、設定をオフにしてご使用ください。

## 1 メニュー画面にする



## 2 「初期設定」を選ぶ



映像設定

音声設定

▶初期設定

すべてのメニューは、「メニュー」で終了します。

▲▼ : 選択      設定 : 決定



## 3 「PICALIN」を選ぶ



初期設定

入力表示設定  
PC動画モード : オン  
PICALIN : オン  
G ON SYNC : オフ  
メニューへ戻る

▲▼ : 選択      ◀▶ : 変更

## 4 設定する



初期設定

入力表示設定  
PC動画モード : オン  
PICALIN : オフ  
G ON SYNC : オフ  
メニューへ戻る

▲▼ : 選択      ▶▶ : 変更



1、4

2 ~ 4



ご注意

出荷時には、PICALIN はオンに設定されています。

設定が終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



パソコン

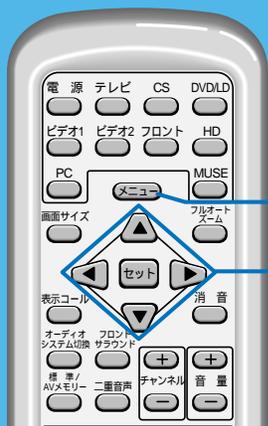
# G ON SYNC の設定

パソコンの映像信号は、通常はR、G、B、HD、VDの5つの信号からなっていますが、G ON SYNC 接続では、G (HD、VD が一緒になっている) Bの3つの信号で構成されます。

お使いのパソコンがG ON SYNC 接続を行う機種 (緑信号に同期信号が重畳された出力を持つ機種) の場合には画面上での設定が必要です。

## G ON SYNC 接続の設定をする

### 1 メニュー画面にする



### 2 「初期設定」を選ぶ



映像設定

音声設定

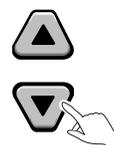
▶初期設定

すべてのメニューは、**メニュー** で終了します。

▲▼ : 選択      設定 : 決定



### 3 「G ON SYNC」を選ぶ



初期設定

PC動画モード : オン  
PICALIN : オン  
G ON SYNC : オフ  
メニューへ戻る  
AVメモリー設定 (PC)

▲▼ : 選択      ◀▶ : 変更

### 4 「オン」に設定する



初期設定

PC動画モード : オン  
PICALIN : オン  
G ON SYNC : オン  
メニューへ戻る  
AVメモリー設定 (PC)

▲▼ : 選択      ▶▶ : 変更

設定が終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



ご注意

この設定をする場合、お使いのパソコンの信号出力を十分に確認してください。

画面が明るくなったり、緑がかっているような時にG ON SYNC をオンにしてください。



ひとつ

Apple Macintosh コンピューターの1部の機種は、G ON SYNC 接続を行います。

詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をよくお読みください。

# 節電機能を働かせる

本機は節電のためパワーマネジメント機能を内蔵しています。  
 パワーマネジメント機能は、パソコンからの信号入力途切れた場合に自動的に電源を切りスタンバイ状態にします。  
 本機のパワーマネジメント機能は、VESAの省電力規格DPMSに準拠しています。  
 この機能は、パワーマネジメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合に機能します。

## パワーマネジメント機能の設定をする

### 1 メニュー画面にする



### 2 「初期設定」を選ぶ



映像設定  
 音声設定  
 ▶初期設定

すべてのメニューは、 で終了します。  
 ▲▼ : 選択      : 決定

セット

### 3 「パワーマネジメント」を選ぶ



初期設定

メニューへ戻る  
 AVメモリー設定 (PC)  
 パワーマネジメント : オフ  
 入力表示設定 : オン  
 PC動画モード

▲▼ : 選択      ◀▶ : 変更

設定	機能	動作状態に戻すには
: 切 ◀自動	8分間パソコンからの信号入力がない場合、本機をスタンバイ状態にします。 (一度スタンバイ状態になると、パソコンから信号が入力されても動作状態に戻りません。)	・リモコンの電源ボタンを押します。
: 切 ◀自動▶入	8秒間パソコンからの信号入力がない場合、本機をスタンバイ状態にします。 信号が入力されると、すぐに動作状態に戻ります。 (スタンバイ状態のとき、インジケータが緑色に点滅します。)	・パソコンを動作させます。 ・リモコンの電源ボタンを押します。 ・リモコンの入力切換ボタンを押します。
: オフ	パワーマネジメント機能はオフの状態です。	

### 4 「切◀自動」と「切◀自動▶入」のどちらかに設定する



初期設定

メニューへ戻る  
 AVメモリー設定 (PC)  
 パワーマネジメント : 切◀自動▶入  
 入力表示設定 : オン  
 PC動画モード

▲▼ : 選択      ◀▶ : 変更

設定が終わったら「メニュー」を押して、通常画面に戻す。



パソコンの電源を落とした場合も、本機はスタンバイ状態になります。

パソコン

# 故障かな？と思ったら

故障かな？と思っても故障でない場合があります。画面に警告の表示が出ているか確認してください。表示されていたら、71ページを参照して状態をチェックしてください。なにも表示されないときは、次の表からあてはまる症状をチェックしてください。また本機以外の原因も考えられますので、ご使用のビデオ機器なども合わせてお調べください。チェックしても直らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにご連絡ください。

## 一般的な症状について

症 状	原 因
・ 電源が入らない	・ 電源プラグが外れていませんか？ ・ 電源ボタンは押してありますか？（9ページ） ・ システムがきちんと接続されていますか？ システムケーブルが接続されていない時や断線している場合、メディアレシーバーとディスプレイの電源が切れインジケータが黄色に点滅します。画面に警告の表示が出ていないか確認してください。（別冊設置マニュアル10ページ）
・ 操作できない	・ 落雷、静電気など外部からの影響により正常に動作しない場合があります。このような場合はディスプレイ、およびメディアレシーバーの主電源を入/切るか、電源プラグをコンセントから抜いて1～2分後に再度差し込んでから操作してください。
・ テレビ放送が映らない	・ アンテナ線は、正しく接続してありますか？（別冊設置マニュアル14ページ） ・ アンテナ線が断線、またはショートしていませんか？ ・ アンテナの向き、他機器との接続は正しいですか？ ・ チャンネルを設定してありますか？（40ページ）
・ 画面に「アンテナの接続、設定を確認してください」と表示が出た	・ 自己診断機能（71ページ）をご覧ください。
・ 音が出ない	・ 消音ボタンがオン（音量表示が赤）になっていませんか？ 消音ボタンをオフにしてください。（17ページ） ・ オーディオシステム切替が外部になっていませんか？ オーディオ内部に切り換えてください。（55ページ）
・ リモコンで操作できない	・ 電池の極性（+、-）の向きは正しいですか？（8ページ） ・ 電池は消耗していませんか？（新しい電池と交換してください。） ・ コントロール入力端子にプラグが差し込まれていませんか？ プラグが差し込まれていると、リモコンの信号を受け付けなくなるのでコントロール接続を確認してください。（別冊設置マニュアル31ページ）
・ 画面が欠ける	・ 画面サイズは合っていますか？ 他の画面サイズに切り換えてください。（48～50ページ）
・ 色がおかしい、画面が薄い、または濃い、色がずれている	・ 画質を調整してください。（28ページ） ・ 部屋が明るすぎませんか？ 明るすぎる部屋では、画面が暗く見えることがあります。
・ 電源がひとりでに切れた	・ 本機の内部温度が高くなっている。（通風口がふさがっている。） 通風口の障害物を取り除いてください。 ・ オートパワーオフ機能やパワーマネージメント機能がオンになっていませんか？
・ 映像が出ない	・ 入力切り換えは正しいですか？（26ページ） ・ 他機器との接続は正しいですか？（別冊設置マニュアル22～31ページ） ・ 画質調整は正しいですか？（28ページ） ・ 本機の対応外の信号が入力されていませんか？（59ページ） ・ 映像ミュートがオンになっていませんか？（31ページ）

## BS 放送に関する症状について

症 状	原 因
<ul style="list-style-type: none"> <li>雪が降るような画面（スノーノイズ）が出る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外アンテナのケーブルが、切れたり外れたりしていませんか？</li> <li>アンテナの向きが変わっていませんか？</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>BSアンテナを設置したが、放送が映らない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナ電源を正しく設定してありますか？</li> <li>アンテナの接続は正しいですか？</li> <li>アンテナの角度や方向は正しいですか？</li> <li>スクランブルされている放送はデコードの接続が必要です。</li> <li>デコードの設定は正しいですか？（別冊設置マニュアル 19 ページ）</li> <li>有料放送を見る場合、放送会社との受信契約が必要です。</li> <li>放送衛星と太陽の間に月が入る「月食」や地球が入る「地球食」になると、放送衛星の太陽電池に光が当たらず放送が一時中断します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>一般のテレビ放送に比べ放送の画質が悪い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨や雪の影響で電波が減衰し画像にノイズが出たり、映りづらくなります。また、雨が降っていなくても放送衛星のある方向に雨雲があると影響を受けます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>音が出てこない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デコードは接続してありますか？</li> <li>独立音声放送（セント・ギガ）は、WOWOW とは別に受信契約が必要です。</li> </ul>

## 故障と誤解しやすい症状について

症 状	原 因
<ul style="list-style-type: none"> <li>画面が小さく表示される（PC 入力時）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力信号が間違っていないですか？ 入力信号対応表を確認してください。（59 ページ）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>画面が 2 重、3 重になる（ゴースト現象）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送局からの直接電波に近くの高層建築などからの反射波が影響している場合があります。また、放送局が近すぎる場合アンテナから入る電波と本機に直接飛び込む電波が影響している場合があります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>画面の文字が欠けている（PC 入力時）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メニュー画面の「画面位置」を使って調整する。 それでも直らない場合は、本機で表示できる範囲を越えている場合があります。パソコンの入力信号をご確認ください。（59 ページ）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>キャビネットから時々「ピシッ」と音がする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の温度変化によって、キャビネットがわずかに膨張・収縮するため、きしみ音が出ることがあります。これは故障ではありません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>映像の明るい部分がつぶれて見える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像入力信号のレベルが高すぎる場合、明るい部分がつぶれぎみに見える場合があります。 コントラストの調整値を下げて確認してください。</li> </ul>

## 故障かな？と思ったら

### 故障と誤解しやすい症状について

症状	原因
・ 画面に斑点が出る、ノイズが出る *注	・ ヘアドライヤー、電気掃除機、電気ドリルなどのモーター機器、自動車、オートバイなどの点火装置、サーモスタットなどの点滅機器、ネオンサイン、排そう電線などの放電による妨害電波の影響が考えられます。
・ 画面に縞模様が出る	・ テレビ局、FM局、アマチュア無線、市民無線（簡易無線）など、また近くのパソコン、テレビ、ビデオ、オーディオ機器などからの電波混入が考えられます。
・ 操作できない	・ 落雷、静電気など外部からの影響により正常に動作しない場合があります。このような場合はディスプレイ、およびメディアレシーバーの主電源を入/切するか、電源プラグをコンセントから抜いて1～2分後に再度差し込んでから操作してください。
・ 本体内部より音がる	・ ファンの回転音です。故障ではありません。

#### \*注：

本機は高精度技術によって製造されておりますが、極めてわずかに画素欠け、誤発光等が生じる事がありますので、ご了承ください。



ご注意

本機のディスプレイはパネルや回路の保護のために、周囲温度が約40℃を越えると自動的にファンの回転数を上げて内部を冷やします（その際ファンの回転する音が大きくなります）。本機は40℃以下の周囲温度でご使用ください。



ご注意

#### その他の注意点

- ・ 本機を使用中に電源が自動的に切れた場合、次のようなことが考えられます。
  - ① 通気孔がふさがれている、あるいは部品が異常発熱している等で、本機の内部温度が異常に上昇しているとき。（14ページ）
  - ② オートパワーオフ機能やパワーマネージメント機能がオンになっている。（51、67ページ）
  - ③ 周囲温度が40℃を越えているとき。本機は周囲温度40℃以下で使用してください。
  - ④ 上記以外の場合に電源が自動的に切れたときには故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- ・ 本機のプラズマディスプレイパネルは大変明るく、近い距離で長い時間画面を見ていると目が疲れます。適度な距離（3～6m）をおいて見ることをお奨めします。

## 自己診断機能について

本機の動作や、アンテナの接続に不具合があるとき、テレビ画面の下側にお知らせメッセージが表示されます。内容をご確認の上、状態をチェックしてください。

こういう表示が出たら	こうしてください
ビデオ2はMUSEサブ入力に設定したのでこの入力は選択できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MUSE サブ入力の設定をオフにします。(別冊 25 ~ 28 ページ)</li> </ul>
接続されている PC の入力信号にこのテレビは対応していません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対応していないパソコンが接続されているためです。59ページのPC入力信号対応表を確認して、パソコン側の出力信号の設定を変えてください。</li> <li>・ G ON SYNC の設定が違っています。正しく設定します。(66 ページ)</li> </ul>
PC の接続を確認してください。 パワーマネージメント：オフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パソコンの接続を確認します。</li> </ul>
アンテナの接続、設定を確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンテナの接続を確認します。</li> <li>・ アンテナの向きを調整します。</li> </ul>
BS デコーダの接続を確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BSデコーダの接続や設定を確認します。(別冊 18 ~ 20 ページ)</li> </ul>
テレビの内部温度が上昇しています。 電源をオフにしてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主電源を切ってください。(9 ページ)</li> <li>・ 室内の温度が 40 以上になっていませんか？</li> <li>・ ディスプレイの通風孔が塞がれていたら直してください。</li> </ul>
システムケーブルの接続を確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主電源を切り(9 ページ)電源コードを抜いてください。</li> <li>・ システムケーブルの接続を確認してください。(別冊 10 ~ 11 ページ)</li> <li>・ それでも表示が出る場合は、修理を依頼してください。</li> </ul>
BS アンテナがショートしていますので接続を確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BSアンテナのケーブルが正しく接続されているか確認します。(別冊 15 ページ)</li> </ul>

# 保証とアフターサービスについて

## 保証書について（別途添付してあります）

ご購入時に、保証書にお買い上げの店の捺印、住所、購入年月日が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。

保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失したとき、あるいは誤った使用方法で使用し故障した場合は、保証期間中であっても有料となりますのでご注意ください。

本機の保証期間は、お買い上げ後1年間となっています（ただし、プラズマディスプレイパネルのみは2年間です）。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（68ページ）を見て、もう一度接続や操作に間違いはないか確認してください。また、異常のあるときは使用を中止してください。必ず電源コードを抜いてから、販売店、アフターサービス連絡先、またはお近くのサービスステーションにご連絡ください（付属のサービスネットワークをご覧ください）。

連絡していただきたい内容

1. 型名、型番  
「プラズマディスプレイシステム PDP-501HD」
  - ・ プラズマディスプレイ PDP-501P
  - ・ メディアレシーバー PDP-501R
  - ・ スピーカー PDP-501S
2. 故障の内容「映像が出ない」など
3. お買い上げ年月日「00年0月0日」
4. お名前、住所、連絡先電話番号
5. ご希望訪問日
6. ご自宅までの道順と目標物（建物、公園など）



### 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。

ステレオの音量は貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。

とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などにはとくに気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## 保証期間中は

修理を依頼するときは、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定によって、修理いたします。

## 保証期間が過ぎているときは

販売店、アフターサービス連絡先、またはお近くのサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 部品の保有期間は

プラズマディスプレイの補修用性能部品の最低保有年数は、製造打ち切り後8年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談は、パイオニアお客様相談センター、又はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

### 愛情点検



### 家電品

愛情点検明るいくらし

# 仕 様

## プラズマディスプレイ PDP-501P

発光パネル.. 50 インチプラズマディスプレイパネル	
アスペクト比 .....	16 : 9
画素数 .....	1280 (水平) × 768 (垂直)
電源 .....	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 .....	585 W (メディアレシーバー含む)
スタンバイ消費電力 .....	5W (メディアレシーバー含む)
外形寸法 .....	1218 (幅) × 714 (高さ) × 98 (奥行) mm (ディスプレイ部)
.....	1218 (幅) × 764 (高さ) × 400 (奥行) mm (ディスプレイスタンド含む)
質量 .....	42.5 kg
.....	46.5 kg (ディスプレイスタンド含む)

## メディアレシーバー PDP-501R

内蔵チューナー .....	VHF/UHF、BS、CATV、MUSE デコーダー
音声出力 .....	12 W + 12W (EIAJ/8 Ω) 外部入出力端子、サブウーファー端子
アンテナ入力 ..	VHF/UHF/CATV1 系統、BS1 系統
ビデオ入力 .....	S 映像 : 5 系統、映像 : 5 系統、音声 : 1 系統
PC 入力 .....	D-SUB 15 : 2 系統、音声 : 2 系統
ハイビジョン入力 .....	Y,PB,PR : 1 系統、音声 : 1 系統
MUSE 入力 .....	1 系統
コンポーネントビデオ入力 .....	1 系統
ビデオ出力 .....	S 映像・音声 : 1 系統
コンポーネントビデオ出力 .....	1 系統
BS 検波出力 .....	2 系統
ビットストリーム出力 .....	1 系統
AFC 入力 .....	1 系統
ヘッドホン出力 .....	1 系統
外部音声入力 .....	1 系統
外部音声出力 .....	1 系統
サブウーファー出力 .....	1 系統
外形寸法 .....	420 (幅) × 128 (高さ) × 360 (奥行) mm
質量 .....	11.2 kg

## スピーカー PDP-501S

方式 .....	3 ウェイ密閉方式
インピーダンス .....	8 Ω
最大入力 .....	12 W
外形寸法 ..	74 (幅) × 714 (高さ) × 98 (奥行) mm
質量 .....	3 kg/1 台

## 付属品

プラズマディスプレイ PDP-501P	
電源コード .....	1
転倒防止用のボルト .....	2
ワイピングクロス .....	1
スピードクランプ .....	2
ビーズバンド .....	2
保証書 .....	1

メディアレシーバー PDP-501R	
システムケーブル .....	1
リモコン .....	1
単 3 乾電池 .....	2
取扱説明書 .....	2
サービスネットワーク .....	1

スピーカー PDP-501S	
スピーカー取付金具 .....	4
コードクランパー .....	2
スピーカー取付ネジ類 .....	4 × 3
取付工具 .....	1

上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

その他

# 技術解説

## 3-1 方式

ハイビジョン放送の音声モードの1つで、Aモード4チャンネルステレオ方式を指します。音声チャンネルを、前はLとR、センターの3つのスピーカー、後ろはひとつのスピーカーの、合計4つのスピーカーを使い臨場感豊かな音声が楽しめます。

## BS放送

放送用の静止衛星を中継局に使い、放送電波(SHF帯)を家庭に送ります。BS放送は普通の放送よりも障害物による電波障害が極めて少なく、高品質の画像や音声が楽しめます。Broadcasting Satelliteの略です。

## BS放送の音声

BS放送の音声にはAモードとBモードがあります。Aモードの音質はFM放送と同等です。テレビ音声か、独立音声を選べます。Bモードの音質はCDと同等です。独立音声は選べません。

## CS放送

通信衛星を中継局に使い、放送電波を家庭に送ります。現在2つの衛星(JCSAT-2、SUPER BIRD-B)に加えてJCSAT-3号機によるデジタル放送が稼働しています。受信するためには専用のアンテナ(BSアンテナは使えません)とCSチューナーまたはデジタルCSチューナーが必要です。

## MUSE方式

MUSE方式はハイビジョンの信号を放送衛星の1チャンネル分の帯域幅(27MHz)で伝送するための帯域圧縮方式です。

## MUSE-NTSCコンバータ

ハイビジョン放送を普通の放送方式(NTSC)に変換するための機器です。ハイビジョン放送を普通のビデオに録画したい場合に必要です。

## S端子

NTSC方式のVIDEO信号を輝度信号と色信号に分け、別々に伝送する端子のことです。VIDEO信号での入出力よりも再現性が優れています。

## S1映像信号

S端子へ判別信号を重ねることにより、画面サイズの情報記録するシステムの名称です。

## S2映像信号

S1映像信号に、縦横比4:3の映像で上下に黒い帯があるワイド映像を自動的に判別する信号を重ねたものです。

## WOWOW

WOWOWはBS5チャンネルです。有料放送のため、BSデコーダがないと視聴できません。

## コンポーネント入力

入力信号としての、Y、Cb、Crの総称です。Cbは(B-Y)信号、Crは(R-Y)信号です。映像信号は、最終的に画面に表示するためにいくつかの信号処理回路を経ています。その途中で信号を受け渡す端子があります。それがVIDEO(コンポジット)入力/出力端子、S入力/出力端子、コンポーネント(Y、Cb、Cr)入力/出力端子、そしてRGB入力/出力端子です。映像の品質を損なわずに信号を受け渡す端子の順番は、RGBコンポーネント S VIDEO端子の順です。

## SRS(サウンドリトリバルシステム)

人間の聴覚にあわせた音場補正を行うことで、2つのスピーカーより再生されるステレオ音声を、より自然で立体的な音に再現する技術の名称です。

## サラウンド

劇場やコンサートホールでは私たちの耳に届く音は直接音や反射音が混ざり合っています。サラウンドはこれを応用して、音声信号を電氣的に処理し、あたかもその場にいるような音場をつくります。

## スクランブル

有料放送では映像や音声の信号を暗号化(スクランブル)し、普通では見る事ができないようにしています。見るためには専用のデコーダ(暗号化された信号をもとどおりにする装置)が必要です。

## セント・ギガ(St.GIGA)

St.GIGAはBS5チャンネルでAモードの独立音声を選ぶことで聞くことができます。有料放送のため、BSデコーダがないと聞くことができません。「BS放送の音声について」を参照)

#### デコーダ

処理された信号をもとに戻す装置のこと。有料放送では映像や音声の信号を暗号化（スクランブル）しています。専用のデコーダで暗号化された信号をもとどおりにして視聴します。

#### パーフェクTV

JCSAT-3号機を使用したデジタル放送の名称です。デジタル放送は衛星の1チャンネル分にデジタル圧縮して多チャンネル分を送ることができるメリットがあります。

#### ハイビジョン放送

ハイビジョンは高精細度テレビ（High-Definition TV）とも呼ばれ、現在のテレビ方式に変わる次世代テレビ方式です。ハイビジョン放送を見る場合はハイビジョン放送の方式であるMUSE方式の信号を復調するMUSEデコーダが必要ですが、本機ではそれを内蔵しています。

#### ハイビジョン放送の音声

ハイビジョン放送の音声モードはAモード4チャンネルステレオ方式と、Bモード2チャンネル方式があります。

#### 三次元Y/C分離回路

映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を実現する回路です。

# さくいん

「操」は操作マニュアル、「設」は設置マニュアルの意味です。数字はページ数です。

<b>A</b>	AVメー- .....	操 36
<b>B</b>	Blバ <sup>ル</sup> .....	操 63
	BSアンテナ電源の設定 .....	設 16
	BSデコーダの設定 .....	設 19
	BSデコーダ 端子 .....	設 12、18
	BS-IF 入力端子 .....	設 12、15
<b>C</b>	CATV の受信 .....	操 17
	CSチューナ- .....	操 26 / 設 12、21、22
	CS 入力端子 .....	設 12、21
<b>D</b>	DPMS .....	操 58、67
<b>E</b>	EFM 音声 .....	操 52 / 設 25、28
<b>G</b>	G ON SYNC .....	操 66
	Glバ <sup>ル</sup> .....	操 63
<b>H</b>	HD 入力端子 .....	設 12、29
<b>M</b>	MUSE .....	操 50、74 / 設 26
	MUSE切 <sup>り</sup> 入力 .....	設 26
	MUSE/NTSCコバ <sup>り</sup> -ター .....	設 29
<b>P</b>	PC 動画モード .....	操 64
	PC 入力信号対応表 .....	操 59
	PC 入力端子 .....	操 12、58 / 設 12
	PICALIN .....	操 65
<b>R</b>	Rlバ <sup>ル</sup> .....	操 63
<b>S</b>	S1、S2 映像信号 .....	操 50
	SRマ <sup>ー</sup> ク .....	設 31
	SRS .....	操 34、74
<b>V</b>	VESA .....	操 58、67
	VHF/UHF 入力端子 .....	設 12、14
<b>W</b>	WOWOWデコーダ .....	設 18、23

<b>あ</b>	アンテナ (BS) .....	設 13、15、16
	アンテナ (VHF/UHF) .....	設 13、14
	オーディオシステム切換 .....	操 55
	オートパワーオフ .....	操 51、52
	明るさの調整 .....	操 29、63
	異常時の処置 .....	操 68、71 / 設 2
	色あいの調整 .....	操 29
	色温度の調整 .....	操 29
	色の濃さの調整 .....	操 29
	動きモード .....	操 30
	映像ミュート .....	操 31
	音声ミュート (消音) .....	操 17
<b>か</b>	クリアボタン .....	操 12、52
	クック位相調整 .....	操 63
	クック周波数調整 .....	操 63
	ゲーム機をつなぐ .....	設 30
	コントラストの調整 .....	操 29、63
	コントロール入出力端子 .....	設 12、31
	画面サイズ .....	操 48
	画面位置 (水平 / 垂直) .....	操 63
	画面焼き付きのご注意 .....	操 58
	故障にかんすること .....	操 68
<b>さ</b>	3-1 方式 .....	操 35
	サウンドリトリバルシステム .....	操 34、74
	システムケーブル .....	操 3 / 設 7、10
	シネコサイズ (画面サイズ) .....	操 48
	シネ AVメー- .....	操 39
	シネホワイト (画面サイズ) .....	操 48
	シャープネスの調整 .....	操 29
	ズーム (画面サイズ) .....	操 48
	スクリーン .....	操 50
	スタンバイ状態 (電源) .....	操 9
	スピーカーを取り付ける .....	設 9
	スピーカー (AVメー-) .....	操 39
	セントキガ .....	操 33 / 設 18
	自己診断機能 .....	操 71
	使用環境のご注意 .....	設 3、5
	使用方法のご注意 .....	設 3、5
	主電源を入れる / 切る .....	操 9
	修理の依頼 .....	操 72
	消音 .....	操 17
	設置上のご注意 .....	設 2、4
	節電機能 .....	操 67

**た** チャンネルを自動設定 ..... 操 40  
デコーダ( BS )..... 操 75 / 設 12、18、19  
取付け金具、工具 ..... 設 6  
調整レット ..... 操 63  
転倒防止 ..... 設 6、9  
電源コード ..... 設 6、11

**な** チュラワイト( 画面サイズ )..... 操 48  
ノーマル( 画面サイズ )..... 操 48

**は** ハイビジョンLDプレーヤー ..... 設 22、26  
ハイビジョン用ビデオデッキ ..... 設 22、29  
パソコン ..... 操 62 / 設 22  
パワーマネジメント機能 ..... 操 52、67  
ピクサイズ( 画面サイズ )..... 操 48  
ビデオカメラをつなぐ ..... 設 30  
ビデオ端子 ..... 設 12、23  
フル( 画面サイズ )..... 操 49  
フルオートズーム ..... 操 48  
フロントサウンド ..... 操 34

フロント入力端子 ..... 操 12、62 / 設 22、30  
ホームシアター ..... 操 53  
表示コール ..... 操 11、17  
表示の書き換え ..... 操 46  
付属品 ..... 設 6  
保証について ..... 操 72

**や** ユーザー設定( AVメモリー )..... 操 36

**ら** ラストメモリー( AVメモリー )..... 操 36  
レターボックス ..... 操 50

**わ** ワイドクリアビジョン放送 ..... 操 50

# MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

# MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その他

このたびはパイオニア製品をお買い求めいただきありがとうございました。

お使いになる前に、正しく安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」を必ずお読みください。  
本機の機能を十分に発揮させてお使いいただくために、この取り扱い説明書を最後までお読みください。  
本機の取り扱い説明書は「設置マニュアル」と「操作マニュアル」で構成しています。  
お読みになった後は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒にして大切に保管してください。

高調波ガイドライン適合品



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

© 1998 パイオニア株式会社 禁無断転載



株式会社 〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<97K00SF0Y01>

<ARA1299-B>